

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2019年7月1日号 東京発行 NO.267

発行元：株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 http://www.taiwannews.jp E-mail:info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回：3,500円(税込) / 24回：7,000円(税込) ●郵便振替：00140-4-594168

台湾新聞は現状の政権を尊重し、公正かつ中立の立場を理念として発行する唯一の新聞社です。政党や思想にとらわれない自由と平等な紙面構成を常に心がけております。皆さまからの暖かいご支援をお願い申し上げます。

台湾与党・民進党の党内予備選で 蔡英文総統が勝利



民進党が蔡英文総統を公認候補 (写真提供：自由時報)

台湾の与党民進党は6月13日、台北の党本部で記者会見を開き、来年1月の次期総統選の公認候補を選ぶ党内予備選の世論調査の結果を発表した。蔡英文が35.68%の支持率を獲得し、頼清徳前行政院長(首相)の27.48%を上回って勝利した。

世論調査は党本部と党から委託を受けた民間調査機関など計5団体によって20歳以上の有権者を対象に6月10日～12日に固定電話と携帯電話で実施され、計1万6051人から有効回答を得た。調査項目には、対抗馬と目される柯文哲台北市長(無所属)と韓国瑜高雄市長(国民党)との比較が盛り込まれていたが、5団体いずれの調査でも、蔡英文の支持率は頼氏を凌いだ

でなく、国民党の柯、韓両氏をも上回った。

予備選勝因は青年層の支持回復

現職の蔡英文総統が頼清徳前行政院長に勝利した要因として、蔡陣営の関係者は「若い世代の支持を取り戻せた」と指摘した。この結果を受け、頼氏や対抗馬と目される無所属の柯文哲台北市長、野党国民党の韓国瑜高雄市長も結果についてコメントした。

蔡陣営の中心人物は蔡英文総統が若者の支持を獲得できた背景について「今年の確定申告で蔡政権の税制改革の成果を国民が実感できた」「アジア初となる同性婚を認める特別

法が5月成立した」などを挙げた。別の民進党員は頼氏の敗因について「独立色の濃い支持者が頼氏の足かせとなった」と指摘し、頼氏に近い人物も「青年層に鮮明な印象を植え付けることができなかった」と分析した。

蔡英文は結果を受けて自身のフェイスブックを更新。「頼氏のおかげで自身の問題点や盲点をはつきりさせることができた」とする一方で、「一人も欠けてはならない」と党内の団結を強く呼び掛けた。

敗北の頼氏、蔡総統支持を約束

蔡英文に敗れた頼氏は6月13日、台湾南部の台南市で取材に応じ、卓榮泰党主席(党首)と蔡英文の双方に電話をかけ「蔡英文総統支持を約束した」と話した。さらに、香港で行われた大規模デモにも言及し「団結で来年の総統選勝利を勝ち取り台湾を守るべきだ」と語った。

国民党の柯氏と韓氏もコメント

柯市長は勝利した蔡英文総統へのメッセージを市議会でも市議から求められると、「がんばれ」と一言発した。柯氏は総統選への

出馬が取り沙汰されているものの、出馬表明はしていない。自身が総統選に身を投じるか否かについては明確な回答を選じた。また、韓市長は取材に対し、世論調査の回答者には民進党員やその支持者が多かった可能性を指摘し「蔡英文の支持率を下回った今回の結果は自身にとって参考になる所はあまりない」とした。

なお国民党は総統選をめぐり5人が名乗りを上げており、党内予備選の結果は7月16日に正式発表される。同党の職員は、郭台銘・鴻海精密工業董事長か韓氏のいずれかが公認候補に指名されるだろうと語った。

民進党が蔡英文総統を公認候補に

民進党の中央執行委員会は6月19日、予備選で勝利した蔡英文総統を次期総統選の公認候補に正式指名した。蔡氏は台北の党本部で談話を発表し「必ず当選してみせる」と自



民進党の党内予備選で蔡英文総統が勝利 (写真提供：自由時報)

TOPIC	
日本語版	
●大島参院議員が台北経済文化代表処を定期訪問	2面
●幸福実現党の七海ひろこ氏が本社を表彰訪問	2面
●香港デモ～蔡総統「一国二制度は失敗」民主主義を守る姿勢強調	3面
中国語版	
●關心日本台商 蔡其昌副院長與關東僑領聚餐	6面
●旅日畫家林蕙東東京個展 展現東方美人氣息	8面
●台灣電熊與版神虎將合體 為甲子園台灣日加油	10面
●日總第二次理監事會 齊聚山梨探討會務	11面
●一解鄉愁 進地台灣刈包飄香池袋	12面

WEBでも二ユー記事が読めます
<http://blog.taiwannews.jp/>

信を示した。次期総統選は来年1月11日、立法委員(国会議員)選と同日実施される。蔡氏は来年の選挙の目標について、「総統選勝利、立法委員選で過半数獲得」を掲げた。



頼氏は「蔡英文総統支持を約束した」と話した (写真提供：自由時報)

香港200万人デモ、発端は「逃亡犯条例」



2019年6月9日の逃亡犯条例改正案に反対する3度目の反対デモでは、人口の約7分の1にあたる103万人が参加し(主催者発表、警察発表は24万人)、2003年の「香港基本法23条国家安全保障条例」案に反対した50万人規模のデモを大きく上回った。さらに同16日には香港全人口の

の一つにする構えだ。香港の混乱が長引けば、米中関係にも大きな影響を与えそうだ。

逃亡犯条例の改正案は、香港で拘束した容疑者を中国本土に引き渡せるようにする内容で、中国に批判的な人物が移送対象になるとの懸念が強い。政府が同12

日に起きた学生らの道路占拠を「暴動」と呼び、催涙弾を使った強制排除で多数のけが人が出たことにも批判が集まっている。

「逃亡犯条例」で21日、香港政府「廃案受け入れる」

香港政府は6月21日夜、「改正作業は完全に停止し、立法会会期が終わる来年7月には、改正案も自動的に廃案となる。政府はその現実を受け入れる」と声明を発表した。これに先立つ同18日には、政府トップの林鄭月娥行政長官も同様の発言をしていたが、改めて「現時点で廃案に等しい」との意味合いを強調し、抗議行動の沈静化を促した。

声明を前に同21日午前、立法会周辺に集まったのはほとんどが若者。周囲の幹線道路を占拠した後、昼ごろには警察本部前へ移動し、建物を取り囲んだ。「われわれは暴徒ではない」と呼び、逮捕者を罪に問わない事や警察トップとの直接対話を要求した。群衆は他にも、複数の政府関連施設を取り囲んだ。

改正案をめぐっては、抗議の高まりに押された香港政府が、改正案の審議中断を決定。他方、改正案の完全撤回を求める声は根強く、警察の一連の強硬措置に対する反発は取まっていない。

香港デモ 台湾学生団体らが条例撤回を訴え 台北で会見

台北の立法院(国会)前で6月16日午後、香港から中国本土への容疑者の引き渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案に反対する集会があった。主催者発表で1万人近くが参加し、改正案に反対する香港市民にエールを送った。集会では複数の香港の民主化運動家が現場でのスピーチやビデオメッセージで台湾に支持を呼び掛けた。

集会は台湾に留学する香港人学生や卒業生の団体のほか、台湾の市民団体などが主催した。参加者は「台湾は香港を支持する」「中国への引き渡し反対」などの言葉が書かれた紙を掲げ、香港に声を届けた。

また、台湾の学生団体の代表や学生運動元リーダーの林飛帆氏らが6月10日夜、香港の在台北口機関、香港経済貿易文化弁事処(台北市)前で記者会見を開き、香港政府に条例の撤回を求めた。現場には数十人の支持者が応援に駆け付けた。林氏は、同条例が可決された場合、香港に入境または乗り継ぎで立ち寄った際に中国側に「中国の法律に違反した」とみなされれば中国本土に引き渡される事になると指摘。台湾の非政府組織

(NGO)活動家、李明哲氏が2017年に中国本土で身柄を拘束された事件に言及し、同条例は「国家の安全と人々の安全に関わる問題」だと訴えた。その上で、総統選に名乗りを上げている候補者に対し、この問題について態度を明確に表明するよう求めた。会見には林氏のほか、台湾大や成功大の各学生会会長や台湾独立派の活動家、羅宜氏らが出席した。



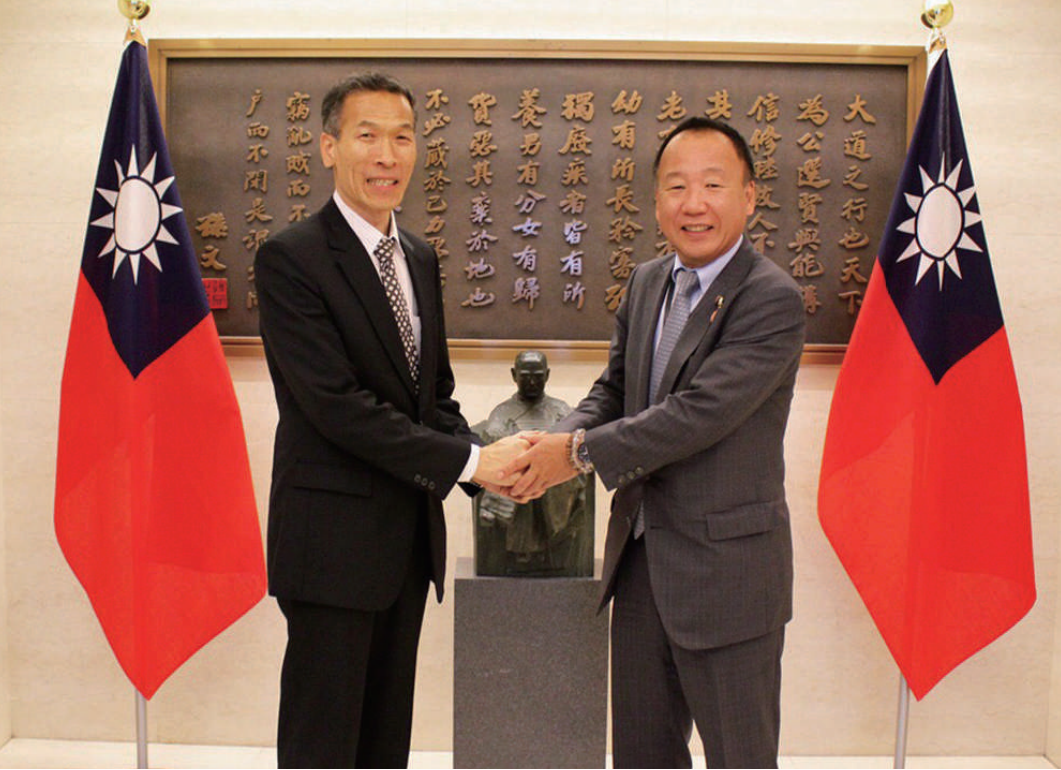
警官隊はゴム弾を発射し、催涙弾を使用した (写真提供：中央社)



抗議活動参加者に向け催涙弾などが使われた (写真提供：中央社)

大島参院議員 台北経済文化代表処を定期訪問

大島九州男議員と向明徳政務部長



化、海洋資源の管理など地球規模の課題に双方が力を合わせて取り組み、解決していく」とした。

日本では目下、「台湾の靴下がブームの兆しを見せている」との市場動向から、「タピオカに次ぐヒット商品として日本で爆発的な人気を博す」と大島議員が特論を展開すると、向政務部長も「台湾の若手アーティストが日本国内で活動の場を広げている」と説明。双方に、台日の若者交流がファッション面でも活発化し、その一翼を担っている事にさらなる期待感が示された。

このほか、現在の良好な台日関係を背景に、「日本から修学旅行で台湾を訪れる高校生の急増」も話題となり、日本の高校生が渡航する修学旅行先に2年連続で台湾が米国を抑えて選ばれるなど、最近の傾向が向政務部長から説明された。

また、国内では7月の参議院選を控えており、「議会では目下、外交政策についての論戦が交わされている」と大島議員とし、大島議員のこうした地道な台日の取り組みの評価は、選挙で有権者がどう判断するかが注目が集まる。

大島九州男議員はこのほど、定期訪問している台北経済文化代表処を訪れ、向明徳政務部長と昨今の台日関係について意見交換した。このなかで「令和は日本と台湾の関係が試される新時代になる」との共通認識である事を確認した。また、「豚コレラや地球温暖

タピオカブランド珍煮丹が 渋谷に上陸～日本初進出

タピオカブランド「珍煮丹(ジェンジュダン)」オープン



宏勝商事(林宥宏社長)は6月14日、東京・渋谷のMAGNET by SHIBUYA109の7階のフードフロア「MAG7(マグセブン)」にタピオカブランド「珍煮丹(ジェンジュダン)」をオープンした。タピオカブランドのドリンクの日本店舗は初進出で、現在、台湾に40店舗以上を展開し人気を博している同ブランドの日本での本格進出を実現した。同社はこのほか香港、韓国、シンガポールにも進出している。

同社は、タピオカカラーの心を射止めるのにふさわしい場所として、渋谷を選んだ。「珍煮丹の特徴であるその卓越した技術と素材選びによる品質」を武器に、主原料に100%台湾製の天然黒糖とそれに味を存分に染み込ませ、さらに、日本向けに北海道産の濃厚な牛乳をアレンジした商品を提供する。また、最大の特徴である「全て自然素材に添加物はない」事も強調し、目下、日本でブームが起きている「タピオカドリンク」の市場拡大とシェア獲得を目指す。

珍煮丹は、2010年士林観光夜市にて1号店をスタート。2017年には、独自の黒糖を設立し、純粋なハンドメイド技術で製造している。工場はISO22000認証とHACCP認証がされており、製品はSGS検査に合格し、台湾の衛生福利部により設定された基準を満たしている。

なお、台湾の人気モバイルサイト「Mobile 01」主催で2017年に開催されたブライントテストティングで珍煮丹は1位を獲得し実績を持つ。

また、珍煮丹の名前の由来は、台湾の古い言い伝えの「将珍珠煮成仙丹」から。

店舗概要

店名=珍煮丹 渋谷 MAGNET109店
住所=東京都渋谷区神南1丁目23-10
MAGNET by SHIBUYA109 7F「MAG7」
電話=03-6868-8477
営業時間:11:00～23:00

幸福実現党の七海ひろこ氏が 本社を表敬訪問



七海本部長は錢社主との間で意見交換や主旨説明などの懇親が行われた。幸福実現党広報本部長の七海ひろこ氏が6月12日、表敬のため台湾新聞社を訪れ、錢妙玲社主と懇親した。先に控える選挙での同党の公約とする「香港・台湾支援」の内容を軸に、終始和やかな雰囲気の中で錢社主との間で意見交換や主旨説明などの懇親が行われた。なお、七海氏は今夏の参院選出馬(東京選挙区)を表明している。

幸福実現党(釈量子党首)は本年立党10年を迎え、現在、35人の公認地方議員が在籍している。同党は、「北朝鮮と中国の脅威から日本やアジアを守る」「減税で個人も国家も豊かに」などの

には台湾との国交回復を求める要望書を内閣府及び外務省に提出した。さらに6月16日、党幹事長の松島弘典氏を中心に、同党沖繩県本部が「中国の覇権主義から香港・台湾・日本を守ろう!」と訴えるデモを開催。その後6月26日には新宿で同主旨のデモを行った。

七海氏は「台湾は大好きな国で、何度も訪れています。幸福実現党は、中国共産党の言論統制、人権弾圧を真正面から批判し、世界の自由・民主・信仰を守るために戦い続けます」と強調する。「台湾の自由が守られるためにも、幸福実現党の躍進に期待したい」(錢妙玲社主)と支援、協力体制を確認した。



幸福実現党広報本部長の七海ひろこ氏

台湾産生ライチのPRイベント ～五輪を視野に販路拡大目指す



台湾産生ライチのPRイベントが6月24日、東京都内で開催された。2020年の東京五輪・パラリンピックへの提供を視野に、日本での販路拡大を目指す。台湾から初めて日本に輸出された生ライチは2018年から2175キロ。今年はそれを上回る7000キロの輸出を見込む。イベントは中華民国対外貿易発展協会(台湾貿易センター、TAITRA)及び台湾青果合作社(同業組合)、技術開発を

手掛けた直動機器メーカーのハイウィン(上銀科技)などが共同で開催。ライチの外観や鮮度を長期間保つことができる台湾の新技术などを披露した。

ハイウィンの卓永財会長によると、新技術により「変色しやすい生ライチの果皮を鮮やかに保つ事ができ、しかもみずみずしいま約30日間維持させることができる」とした。さらに今後は、「さらなる技術向上により40日間

に延長できる可能性も」と示唆した。

台湾貿易センター東京事務所の陳英頭所長は、日本におけるライチの市場占有率について「日本産より台湾産が52%で首位」と紹介。その上で、「現時点では台湾産生ライチの購入方法は予約制による産地直送が一般的」と説明し、日本の大型流通業者を産地に招くなど、日本市場の販路を積極的に開拓する姿勢を示した。陳所長はまた、東京五輪の商機について、台湾産農産物の日本向け輸出量が順調に伸張しているとした上で、「すっかり日本に定着したマンゴーに続き、ライチやバナナ、パイナップルなどを来年の主力商品に押し上げたい」と意気込んだ。

一方で、ライチの主要産地の一つである台中市では、暖冬や雨不足などの影響により2019年の生産量が昨年比3割減となっているが、これについて陳氏は、「日台貿易は貨物の取引にとどまらず、文化やライフスタイルの交流でもある」と説明し、「イベントの宣伝効果に影響はない」と強調した。

『HIStory3 圈套 けんとう～ラブ・トラップ』が 日本初の配信開始

台湾で大ヒットしているBL ウェブドラマ「HIStory」シリーズの最新作 HIStory3 圈套けんとう～ラブ・トラップが6月21日正午よりビデオマーケット、Rakuten TVにて配信された。このシリーズの配信は日本初。

警察とヤクザといった立場の違いを4人が繰り広げる、胸キュンの危険なラブ・ストーリー。台湾のLINETVで2019年4月



スチール写真2

16日より配信されて以降、一ヵ月間で300万を超えるPVを達成した大ヒット作。これを祝して5月26日に台北でファンら集めパーティーも開かれた。さらに6月にもファンミーティングが開かれた。新たな10代～20代のドラマファンを獲得するなど、目下、台湾ドラマ界を賑わせている。

【配信情報】期日:6/21(金)12:00～PF:ビデオマーケットとRakuten TVの独占6/21 #1～#3※毎週金曜日1話ずつ更新*8/9が#10(最終話)配信予定。

【作品概要】原題:HIStory3 圈套 45分×10話 台湾での放送:2019年4月16日 LINE TV 監督:リー・チンロン(李青蓉) 出演:クリス・ウー(呉承洋)、ジェイク・スー(徐鈞浩)、アンディ・ピエン(下慶華)、ケニー・チェン(陳廷軒) 製作:LINE TV(台湾) 提供:ビデオマーケット、Rakuten TV 公式 twitter:@HIStory3_jp

李琴峰さんの小説が 芥川賞候補作に

台湾出身の作家、李琴峰さんの小説「五つ数えれば三日月」が第161回芥川賞にノミネートされ、その候補作が6月17日に発表された。李さんは「受賞の有無に関わらずより多くの人にこの越境する小説を読んでもらえれば」と話した。

作品は、日本で働く同性愛者の台湾人女性と結婚で台湾に移住した日本人女性が平成最後の夏に5年ぶりに再会するという物語。李さんによると、2人が一緒に過ごす10時間を通じて、同性愛者として身分や国籍、言語のアイデンティティーにおける問題と苦境に対する考えを映し出したという。

李さんは1989年台湾生まれ。15歳から日本語を学び始め、2013年に日本の大学院に留学。修士号取得後は日本で勤務し2017年には日本語で執筆したデビュー作「独り舞」で第60回群像新人文学賞優秀作を受賞した。

ノミネートされた理由について李さんは、自身がこれまで一貫して扱ってきた同性愛や国籍、言語への問題意識が注目されたからではないかとしつつ、最も重要な要因は「もちろん技術の向上」と付け加えた。

台湾出身の作家が芥川賞候補に選ばれているのは第157回の温又柔さん以来2年ぶり。選考会は7月17日に東京で行われる。



作家李琴峰(写真提供:自由時報、李琴峰)



▽香港デモの様子(写真提供:中央社)



香港デモ～蔡総統「一国二制度は失敗」民主主義を守る姿勢強調

蔡英文総統は6月11日夜、自身のフェイスブックで、香港で起きた「逃亡犯条例」改正案に反対する大規模デモへの支持を改めて表明した。「中国が香港で実施する一国二制度は失敗」との考えを示し、民主主義や自由を守る姿勢を強調した。

蔡総統は自身が若い頃の台湾には十分な出版や言論の自由がなく、自由の空気があった香港は「本を買う場所」だったと振り返った上で、1997年の香港返還からこれまでで台湾は民主化、自由化したのに対し、香港は自由を失おうとしていると言及。主催者発表で100万人余りが参加したとされる6月9日の大規模デモに連れ、「民主主義国家がこれほどの抗議に直面したら、政府の指導者は自身の政策に誤りがないかを考えることを余儀なくされる」と一般論として述べ、「だが香港政府にはこのような反省は見られない。北京からの指令を繰り返して述べているだけだ」と批判した。



林鄭月娥行政長官の辞任を要求するプラカードが掲げられた(写真提供:中央社)

その上で「これは中国が香港で実施している一国二制度の失敗を示している」とし、「国家の主権の消滅を目的としたいかなる行為も決して受け入れず、法改正を前提とした個々の引き渡しの受け入れを拒否する。民主主義と自由は全ての台湾人が大切にしている価値観なのだ」と中華民国政府としての立場を強調した。

また、人権保障や民主主義、法治に対する香港の人々の切なる願いや諦めない固い意志は伝わっていると、現在は呼吸するかのようになりつつあるけれど実は得難い全てのものを大切にしようと台湾の若者に考えさせるきっかけとなった」とつづった。

香港政府は「不道德」と批判 台湾が法改正案審議延期の口実に

吳ショウ燮外交部長は6月15日、香港の林鄭月娥行政長官が同日の会見で、中国本土への容疑者引き渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案の審議を延期するのは台湾が香港政府の提案を受け入れないためだと発

言したことを受け、外交部の公式ツイッターに英文のコメントを投稿した。吳氏は台湾のせいにするのは「不道德かつ恥ずべきこと」で、全く受け入れられない」と批判した。

台湾では2018年2月、台湾旅行中の香港人の男が同行の女性を殺害し、香港に逃亡する事件が発生した。台湾側は香港政府に容疑者の引き渡しを繰り返し求めたが、両者間には犯罪人引き渡し協定が結ばれておらず、実現が難しかった。香港政府は今年初めに、解決策として「逃亡犯条例」の改正案を提出。一旦成立すれば、立法会(議会)の審議を経ずに中国当局に容疑者の身柄を引き渡すことが可能になる内容だったため、香港社会の不安をおこした。



蔡英文総統は香港デモへの支持を改めて表明した(写真提供:中央社)

「親中メディア」への反対デモ 独立派議員ら



「赤色(中国共産党の象徴)メディアを拒否、台湾の民主主義を守ろう。」(写真提供:自由時報)

中国寄りのメディアに抗議するデモが6月23日、台湾総統府前のケダガラン大通りで行われた。発起人の一人で台湾独立派政党「時代力量」の立法委員の黄国昌氏が中国勢力の浸透に反対する姿勢を示し、放送事業などの監督機関、国家通訊伝播委員会は強硬な姿勢を見せるべきだと訴えた。

デモは黄氏をはじめ企業家など、また、インターネット有名人の陳之漢氏の呼び掛けで行われた。陳氏は、政治や社会問題などの時節をネット上で頻繁にコメントする事で知られる。6月中旬にも香港から中国本土への容疑者引き渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案に対し、ライブ配信で中国を批判していた。さらに、台湾の一部メディアが香港での出来事について「十分に報道していない」との見方も示していた。

デモ当日は降雨だったが、多くの人がカッパをし、また、傘を差しながら参加。「赤色(中

国共産党の象徴)メディアを拒否、台湾の民主主義を守ろう」などと声を上げた。なお、配信されたライブ映像では、ケダガラン大通り上にある景福門の周りが参加者で埋め尽くされている様子が映し出された。周辺には警察官約220人が配置されたという。

蔡英文総統は同日、出席したイベント後の取材でデモに言及。デモの発起人に謝意を示し、台湾メディアへの中国勢力の浸透に対する社会の危機感を高める効果があるとの考えを示した。



デモ現場の様子(写真提供:自由時報)

▽国際シンポジウムの様子



台湾有事に備えた 日米台の連携シンポジウムが開催

一般社団法人日米台関係研究所(渡辺利夫理事長)は5月28と29日の両日、都内ホテルで「日米台安全保障協力の方向性」と題する国際シンポジウムを開催した。台湾問題等に関する専門家、有識者、研究者などによる三国の連携をテーマに「アジア太平洋地域におけるバランスオブパワー」の確立を目指すため、日米台安全保障協力の方向性を見出す事を目的に実施された。

シンポジウムでは主に「仮に中国優位の方向性が阻止されなければ地域のバランスは崩れる(日米台関係研究所)との提言を元に、「日本と日本人はこの認識に立って同盟国米」とともに台湾の民主主義を物心両面から支えなければならない。さらに台湾有事の際には日米台三者の連携を持って阻止し食い止めなければならない(渡辺理事長)と論じ、具体的な政策提言として6項目が提言され、採択された。また、発表事例は金田秀昭氏、頼怡忠氏、ウォレス・グレッグソン氏、浅野和生氏らが行い、共同声明は同所川村純彦監事により発表された。



台湾日本関係協会の郭仲熙秘書長(写真提供:中央社)

間の公的な安全保障対話の開始③日米台間の公的な安全保障対話の開始④日本における日台交流基本法の制定⑤「台湾における対日対米間の協定覚書の法制化」⑥「中国による日米の安全保障同盟や台湾の民主主義と自由の弱体化を目的としこれらに好ましくない影響を与えるために行われる一連の工作活動に適切に対処するための政策メカニズム並びに手法方策の確立」だった。

日台交流基本法の制定に意欲

台湾日本関係協会の郭仲熙秘書長は6月6日、長島昭久衆院議員らが草案の提出を目指す「日台交流基本法」について、「実現を期待する」との立場を示した。また、同法草案に「今後何らかの行動を起こす」と言明。ただ、具体的な方法については示さず「水面下で取り組んでいく」とこどめた。

なお、一部の報道によると、東京都内で5月29日に開かれた「日米台安全保障協力の方向性」と題する日米台関係研究所主催の国際シンポジウムで「日本と台湾の交流法制化に期待を示した」という。郭秘書長は、長島氏らが所属する日本の超党派国会議員連盟「日華議員懇談会」は台湾を強く支持していると言及し、同法の制定に熱心な議員も複数含まれていると紹介。台湾外交部は「これらの議員と密接に連絡を取り合っていく」とした。

なお、政策提言の内容は①「日米共催の人道的な地域海洋安全保障訓練への台湾参加の容認」②「日台

鴻海の郭氏、会長職退く 後任はシャープ取締役の劉揚偉氏



郭氏が会長職退任を表明した(写真提供:中央社)

電子機器受託製造大手の鴻海精密工業は6月21日、台湾北部にある同本社内(新北市)で取締役会を開き、シャープ取締役の劉揚偉氏を次期会長に選任した。2020年1月の総統選に野党国民党から出馬表明している郭台銘会長は退任して取締役に。

郭会長からの信頼が厚い新会長の劉氏は、聯華電子傘下のIC設計会社、聯陽半導体創業メンバーの一人で、同社の米子会社で副社長を務め、ICメーカー、プリンスト

ンテクノロジーの社長などを歴任。鴻海入社後は、郭会長の特別アシスタントなどを経て、半導体部門のトップに就任していた。なお、これに先立つ6月11日、本社で機関投資家向け説明会を開き、9人体制の経営委員会を発足させると発表した。新たな経営体制に移行し、今後は同委がグループを指揮していく。また、取締役会の下に同委を位置づける。社の意思決定は同委が承認した後に取締役で最終決議する方式を採用する。

同委のメンバーには盧松青氏ら新任取締役候補4人に加え、黄秋蓮最高財務責任者(CFO)やシャープの取締役候補に選出されている林忠正氏ら5人が選ばれている。(写真提供:中央社)

台湾の大学へ留学支援します

支援内容:
1.初年度の学費の負担
2.初年度の寮費の負担(なお現地での生活費等は自己負担)

対象者:
1.日本人(日本国出身者)
2.日本の大学の推薦の資格を持つ者

応募方法:
1.履歴書を台湾新聞留学センター宛「留学希望」を明記して郵送又はメールにてご送付、ご送付下さい
応募は2019年3月1日より受付開始

郵送宛先=株式会社 台湾新聞社 留学センター
〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4
TEL03-5917-0045
メールアドレス=info@taiwannews.jp

協賛:
一般社団法人日進人材協会
★協賛者募集中

台湾新聞助學金

日本留学支援

台湾新聞社留日助學金制度:
1.助學金10萬日幣

徵選條件:
1.中華民國國籍或不動産工作者
2.20歳~30歳

準備文件:
1.個人履歷(簡歷+想來日本讀書理由, 附相片, 格式不限)
2.台灣保證人資訊(父母地址、電話、並目簽字蓋章)
3.有學校老師或上司推薦文件佳

相關文件請郵寄台灣新聞社留學中心或mail(件名請寫: 留學募集)至本公司
地址: 171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4 株式会社台湾新聞社
電話: +813-5917-0045 信箱: info@taiwannews.jp

活動贊助商:
三富株式會社
一般社団法人日進人材協会
★協賛者募集中

補充事項:
1.本制度僅學費20%減免和助學金10萬日幣
其他費用自付
2.語言學校由台灣新聞社指定
3.若有疑問請與台灣新聞社聯絡



ドキュメンタリーのきっかけ 第七回

金門島への道②金門島のミズ料理!?

■文:林雅行(映画監督)



さんは何度も海外のTV局の取材を受けた経験があったが短いニュースでしかない。長編ドキュメンタリーなので時間と手間をとらせることになる話をした。「大丈夫だよ」と呉さんの返事。そして会食になった。呉さんおすすめの海鮮料理の店に行く。「信源海産店」が屋号。

金門島は1992年まで戒厳令下であり夜間外出は禁止、海岸線は地雷源になっていて漁は制限されていた。だから海は汚染されておらず近海は海産物の宝庫といえた。中でも店と呉さんのイチオシは、写真にある「ミズ」。ではなくホシムシという海産無脊椎動物。漢字だと星虫。ホシムシの口が星の形をしているからだという。浅い海の砂泥の中からニョキと出ている。長さは10~20センチ、幅は1センチ位。日本でも採れるし世界各地に生息するらしいが私は初めてであった。ニラやネギと炒めたり、蒸して食べる。見た目と違ってサッパリして美味しい。

海産といえば金門の牡蠣は、小粒で身がしまり臭みがなく、塩と胡椒で炒めるだけでOK。大量の牡蠣を使ったオムレツは絶品である。

さて呉さんである。金門島の歴史、とりまく国際環境を理解するための資料収集と併行して、撮影前のペン取材を初める。

呉増棟さんが生まれたのは1957年12月。その7ヵ月後に823砲戦があった。その後も警報が鳴ると家族で防空壕に入り、一夜をすごしたという。湿度が多く、幼児には非健康的でよく熱をだす子だったらしい。祖父は大陸の廈門で鍛冶屋を営んでいたが父の代になって金門島に移り住んできた。

呉さんは8人兄弟の三男で小学生の頃から父の仕事の手伝いをしてきた。父の後継ははずの長兄が30代で若くして亡くなり呉さんは、兄の子世話をし、兄弟姉妹を支えて来たのであった。中国軍の砲弾を包丁にするアイデアを思いついたのは呉さんの父である。改良を重ね金門島名産におしあげたのが呉さんであった。

私がロケの準備をして金門島へ向かうのは5ヵ月後のことである。(続)

TV局の手違いで金門島取材がドタキャンになった。コーディネーターやホテルはキャンセル。航空運賃もだが、キャンセル料が発生する。これは弊社が負担した。口頭契約でも発注したのだから契約は成立だが現実には下請け製作会社は泣くしかない。自虐的にその旨をTV局のCPに伝えると「別の次の企画の時に考慮するから」という。「まあ、いいか」と思ったところ数日後、番組自身が年度末で終了すると連絡が入った。泣き面に蜂である。前回の原稿を見た読者から「キャンセル料は？」と質問されたので記した。

さて金門島の呉増棟さんへの連絡だ。年末の忙しい時期に撮影依頼をしていたのだからお詫びして「年が明けたら伺いたい」と話す。翌年(2011年)1月、私は金門島に呉さんと話すために訪れた。私は一つの決心をしていた。呉さんのドキュメンタリー映画を製作したいということだ。先行する「老兵挽歌」はほぼ仕上がっている。その完成、試写を前に次作に取り組むのは無謀かと思ったが、

「作品を作りたい気持ち」はおさえられない。TV番組ではTV局から製作費がでるが、自主製作のドキュメンタリーは国の助成金とかスポンサーがつかないと製作資金は自ら調達することとなる。

映画にした場合の採算性もある。台湾の中でも金門島は特別。日本統治時代も金門島(馬祖島も)は清国の一部であり、日中戦争時に金門島は日本軍が侵攻し占拠した島であった。国共内戦の激戦地であり中国と対峙する台湾にとって最前線の島である。

台湾本島に住む人にとっては、なじみの薄い疎い島であった。また当時、日本人は年間200人ほどしか足を運ばない島であった。日本人にとっても「遠い島」である。そんな島を題材に映画を製作しても興業的に成功するのかもしれない不安はよぎる。しかし湧き出る製作意欲は抑えきれないのはいつものこと。

呉さんに会い映画製作は時間がかかり何度も撮影することなど製作手順を説明する。職人は集中したいときに映像製作の人間が来て指図されるのを敬遠する人が多いし、呉

てくてく台湾旅 ④

松田義人(deco/編集者・ライター)

台湾の軍事演習を体験した!



ブザーとともに、突如スマホに表示されたプレジデンシャルアラート。

突然スマホから耳慣れないブザーが!

2年という結構長い制作期間を経てなんとか刊行に至った拙著『台北以外の台湾ガイド』(亜紀書房)。台湾ブームで多くの日本人が台湾旅行をするようになったのは、おおいに良いことですが、でも、それが台北だけではあまりにもつたいない!台北ももちろん面白いですが、台湾は台北以外にもまた違う面白さを持つ地方がたくさんありますよ……という思いで作り直しました。

特に、何度も台湾を旅行しているマニアックな日本人、それと、台湾人の旅行好きの方からは、おかげさまで高評価をいただいています。

ただし、一応、僕名義の本ではあるものの、制作にあたっては多くの台湾人、台湾観光局、各県の政府機関の方の多大なご協力があった完成しました。だから、自分としては台湾人の皆さんと一緒に作ったような感覚です。こういった台湾人の協力者の方には、できるだけ直接お礼を言いたい……と思い、刊行後すぐに台湾に飛びました。もちろん、制作期間が長かったため、台湾で羽根を伸ばしたいという気持ちもありました。

5月30日、僕は苗栗の獅頭山勸化堂にお参りをし、そのままクルマで台中方面へ向かっていたのですが、そのときのことです。自分のスマートフォンから耳慣れないブザーが鳴りました。見ると、「プレジデンシャルアラート」とあり、「空襲警報の模擬演習を行う」と、台湾國防部からのメッセージ。その直後、苗栗の街中にけたたましいサイレンが鳴り響きました

軍事演習に促わないと罰金15万円!?

しかし、軍事演習がどこで、どのように行われるかを、イチ旅行者の僕はまったくわかりません。よって、そのまま普通にクルマ

マを運転していましたが、ある交差点に差し掛かったとき、自動車やトラック数台が、まるで水ったように停まっていた。

「何か事故でもあったのかな?」と思い、そのまま通り過ぎようとしたのですが、警察官にものごい剣幕で停車を命じられました。指示に従い素直にクルマを停めたのですが、警察官はそれ以上何も言いません。

「あれ?おかしいな。どうということだろう」と思い、クルマから降りて、警察官に話を聞いてみましたが、中文が不慣れな僕には何を言っているのか理解不能。さらに尋ねようとしたのですが、警察官はきびすを返し、また別のクルマを停車させて行ってしまいました。

ポカンとしていると、やはり交差点で停められていたバイク2人乗りの若い女の子が僕のところへやって来ました。どうやら僕が外国人であることを察し、声をかけてくれたようです。彼女たちはLINEを使って、この状況を日本語で教えてくれました。「今は軍事演習中だから、クルマの運転はダメ。あと数分はクルマを動かさず、ここで待っているように」とのことでした。

つまり、この軍事演習は、台湾中の全交通網を一度ストップさせ、不測の事態が起きても混乱させず、国民を冷静に行動させるためのものであり、その通りに僕のクルマも停められたようでした。

後になって、別の台湾人の友人に聞くと、「あの軍事演習に従わずに、例えばクルマを運転し続けたりした場合は、最大で罰金15万円」とのことでした。

罰金15万円!?!もし、あのとき言葉がわからず、運転し続けていたら……と思うと、旅行者の僕はゾッとしましたが、でも、大好きな台湾のルールですからね。旅行者であってもきちんと従わないといけません。大好きな台湾では特に、戦争なんていう恐ろしいことが起きないことを望むばかりですが、政治背景も含め、こういった状況にあるのも、また台湾なのだと思った次第です。

日本法律停・看・聴 住房反向抵押贷款

【本專欄內容由黑澤事務所提供】

最近在銀行等金融機關裡，常常能聽到名為「住房反向抵押貸款」的商品，這到底是什麼樣的商品呢?本次專欄將針對「住房反向抵押貸款」的運作機制、優缺點及使用上須注意事項的部分進行簡單的說明。

住房反向抵押貸款的運作機制

- 具有擔保抵押能力的住房進行抵押權的設置，便可在一定限額內重複貸款。
• 債務人尚在世時的每个月的還款金額僅限於利息的部份。債務人去後，該抵押物件進行拍賣，並使用該拍賣所得來償還本金。
• 常見的金融機關貸款，像是房屋貸款、商業貸款等使用方式被限定的商品為多數。但住房反向抵押貸款的資金使用方式則是包含了較多生活資金等較自由化的情形。
因為只要償還房產抵押貸款的利息便可取得借款，對於擔心養老金不足的高齡者來說是非常有人氣的金融商品。

但住房反向抵押貸款並非萬能的，以下將針對優缺點的部分進行說明。

住房反向抵押貸款的優點

- 住房不拍賣也可以取得貸款(可繼續於該住房居住，無須搬家)。
• 從晚年的生活資金型態開始，資金的用途更加廣泛。
• 收入方面的條件相對寬鬆(僅有養老金收入也可以受理)

住房反向抵押貸款的缺點

- 有不動產價值的下滑、利率的上升及壽命長壽化的三大風險。
• 需要法定繼承人的同意
• 能與金融機關簽訂契約的區域及住宅是有限制的

住房反向抵押貸款使用注意事項

住房反向抵押貸款是以住宅進行抵押的一種融資制度。使用此抵押貸款方式時，雖然也是有將住房直接賣掉可得到的現金較多的情況，但當您沒有繼承人或是無需將住房留給繼承人時，可以藉由此制度享有在習慣的房子裡的同時有效利用住房的擔保價值。對籌措老後生活的資金有幫助，因此此制度被廣泛的關注著。
即使同樣是住宅反向抵押貸款，商品的內容及條件會因金融機關不同而有各種差異。關於上述的優缺點部分，請於購買前仔細研究，方能活用此產品。

(本文作者:吉田浩之 黑澤事務所所長)

Advertisement for Kurosawa Group (黒澤合同事務所グループ) featuring services like legal, tax, and real estate, with contact information and a QR code.

無量壽佛 2019年【己亥年】

歡迎安奉太歲燈・光明燈

每月農曆初一、十五日收驚、消災、解厄 (免費)

本宮為服務廣大信眾，請準備有領、有袖子淡色上衣、黑色的不可。由本人親自帶回純陽宮恭請神仙佛聖賢菩薩作主化解。(一家族的上衣可以一人代表帶回)

如果無法親自來本宮就不收件。

本宮備有接送車輛，有需要者，請在前一天事先聯絡。JR成田空港駅第二航廈出口35號對面

宗教法人 日本大道院純陽宮

〒289-0216千葉県香取郡神崎町植房950-1
TEL:0478-72-1068或1899 FAX:0478-72-1089
董事長 玄駿 興建會長 玄胡明信



僑領們與副院長合影



關心日本台商 蔡其昌副院長與關東僑領聚餐

【東京／採訪報導】立法院副院長蔡其昌於六月九日在訪日行程中，專程以世界台商之友會會長的身分，透過東京台灣工商會籌備，與關東地區僑領聚餐，除了為僑領們分析台灣目前的政治狀況，也關心台商在日本的發展，東京媽祖廟董事長詹德薰、日本台灣商會聯合總會會長河道台及關東各地僑領都出席共襄盛舉。

東京台灣工商會會長陳五福表示，蔡其昌副院長雖然行程匆忙，但是因為他是世界台商之友會的會長，一直為台商爭取福利，這次也是特別請大家來聚餐，分享台灣現在的政治、經濟及國情。陳五福也特別感謝僑領們的踴躍出席和支持。

副院長蔡其昌表示，在他剛接任世界台商之友會會長時，就有允諾四年任內亞洲的各大台商會都要去拜訪，但現在任期快到了，日本也來過好幾趟，卻一直沒有機會和台商聚會，因此這次來就一定要跟台商朋友吃飯。而因為日本是比較先進、有法治的國家，比較少需要立法院協助，但是像東南亞的國家就比較需要，同時蔡副院長也預告，如果有機會想趁立法院今年暑假的休會期

間，邀請多位立委組團來日本與台商交流。隨後蔡副院長也針對台灣目前的政治經濟等局勢與僑領們分享，特別是明年的總統大選，國民黨在候選人推派上都面臨到與過去不同的局面，而情勢也從過去的兩黨競爭，變成第三勢力像是台北市市長柯文哲的崛起等，分析得相當清楚明瞭，讓僑領們頻頻點頭稱是。

日本台灣商會聯合總會會長河道台主持乾杯儀式時表示，「聽君一席話，勝讀電視轉播」，很感謝蔡副院長大老遠跑來報告，並且在短時間內就能讓僑領們了解目前的國情，日本的台商絕對支持中華民國的政策，也很感謝立法院每次都台商爭取優惠政策，像是回台投資等，特別是僑委會的預算也保持下來，讓在國外的僑界第二、三代，甚至是台商本人都能回台灣學習。

在乾杯儀式後，眾人也開始享受美食佳餚，蔡副院長也很熱情的與僑領們交流互動，不少人也爭相與蔡副院長合影，現場的氣氛也十分融洽，在宴會最後的拍手禮儀特別拍了三下來感謝和歡送蔡副院長



立法院蔡其昌副院長與關東地區僑領們聚餐



會長劉南強致詞

國建會夏季大會改選 丁鴻田續任會長

【東京／採訪報導】國建會日本聯誼會於六月十六日舉行夏季演講會和會員大會，請到海洋研究所研究員黃俊揚演講，以「藍色經濟—聯合國永續發展計畫中台灣的機會」為題，分析台灣當前藍色經濟的狀況，同時也進行會長改選，由丁鴻田（德山喜政）和詹秀娟續任會長和副會長。

會長丁鴻田表示，國建會經過各位理監事的努力，兩年來會員增加了十六位，其中九位博士、七位碩士，集結文教法商理工醫各領域，可以說是最資深的法人團體，再加上多虧前會長周子秋與僑界交流，也有不少僑領都會參與活動，而八月份預計出版將近二十篇五十頁的兩年度報告書，將來也會繼續招募會員、舉辦活動，希望各位能繼續位國建會多多參與。

黃俊揚研究員在講座中提到，為了永續發展，聯合國訂定了永續發展目標（SDGs）而在台灣做為海洋國家，除了往西方前進外，其實在東方太平洋地區還有很多發展空間，雖然不是聯合國的一員，仍然得面對同樣的課題，不僅成立聯合國永續發展諮詢委員會，並以2030年為期程，研訂「我國永續發展目標」等，同時也為來賓解惑，讓眾人了解海洋污染的嚴重程度、台灣的機會，以及藉由透過永續發展，如何讓台灣為

世界盡一份心力。代表處教育組長黃冠超也專程出席，他表示，「君子與文會友，以友輔仁」，大家平常都很忙，但還是會利用空餘時間參加演講會，在自身的專門領域外互相切磋、學習。六月初日本台灣學會在福岡舉辦大會，但國建會的學術交流不分彼此，集結老中青三代，發揮擅長的領域，傑出的表現不比日本台灣學會遜色，希望將來也能持續優良的傳統，給予代表處指教幫忙，也幫忙台灣發聲。

懇親交流會後，國建會也舉辦會員大會，進行理監事的改選，並由七名理事中選出監事和正副會長，最後由現任會長丁鴻田、副會長詹秀娟續任，繼續領導國建會會務發展。



新任的正副會長及理監事

台灣科學技術協會講座暨會員大會 邀請專家談食安健康

【東京／採訪報導】台灣科學技術協會於六月九日在池袋東明飯店舉行「2019年度夏季演講·會員大會」邀請到駐日代表處科技組組長陳俊榮、南越谷健身會醫院理事長周東寬進行專題演講，希望透過活動加強台灣與日本科學技術相關領域的交流，以及提供給留日的學者、學生們台灣科學技術的最新資訊。

理事長黃野銀表示，這次的出席率非常好，在陳俊榮組長的加持下又多開了一桌，而最讓他感到欣慰的是，從2016年謝長廷代表參加夏季研討會時，曾超過五十位會員，但後來兩年因為協會有點努力不足，會員沒有持續下去，但這次他親自打電話給每位會員，會員聽到理事長親自打來就直呼溫馨，但他覺得會員這樣的回饋甚至是重回協會更加溫馨。

陳俊榮組長以「台灣的食物安全政策與現況」為題，跟大家分享到近幾年台灣的重度食安事件，但他提到有時候有些食安問題是因為媒體誇張報導，以及民眾對食安的不了解，才會造成恐慌，但這幾年來台灣政府積極推動「食安五環」政策，從源頭管理開始，到全民監督食安後，成功重新建立民眾對食安的信心，檢查的合格率也提升不少。

周東寬理事長則以「增加健康荷爾蒙來預防和治療疾病的知識」為題演講，他形容疾病的產生就像是河流一樣，從上游開始就有抽菸、喝酒、不運動等壞習慣，到了下游以後就會累積成各式各樣的疾病，但人們可以從建立生活上一些良好的習慣開始，再加上

減鹽、減糖的食療法，以及像是卡拉OK療法來讓身體更加健康，他也與所有人分享101歲的日瑞醫師田中旨夫的故事。

講座結束後接著就是懇親會和會員大會，這次的會員大會以三個主題為主，分別為修改台灣科學技術協會的會章，以及從原名「中國工程師協會日本分會」改名後，尚未有個LOGO，因此這次也設計三個LOGO讓會員們做選擇，最後則是開始籌備十一月於台灣舉行的「中日工程技術研討會」。



台灣科學技術協會舉辦夏季講座和會員大會



周東寬理事長分享保健康的知識

退輔會主秘楊駕人訪日 慰問榮光會同袍

輔會楊駕人主秘訪日慰問榮光會



【橫濱／採訪報導】國軍退役官兵輔導委員會主任秘書楊駕人於六月十四日特別前往橫濱，拜訪中華民國旅日榮光聯誼會，並設宴慰問海外的同袍，橫濱分處處長張淑玲與京濱地區各僑領也都專程出席共襄盛舉，楊主秘也特別感謝大家即使身在海外，心還是向著祖國，為中華民國努力。

榮光會會長河道台表示，旅日榮光會過去是以軍校退下來的職業軍人為主，但因為到海外發展的職業軍人不多，因此改為任何軍公教人員都能參與，利用這個會凝聚在一起，為中華民國打拼支持，並發展國家經濟、傳承文化，這次也很感謝楊主秘一下飛機就來與大家聚會，希望能透過與主秘的意見、情感的交流，將我們日本的心聲帶回台灣。

主秘楊駕人表示，這次他人生第一次來日本，此行是受退輔會主委邱國正所託，在訪問塞班島之餘，也到關島和日本拜訪榮光會，自己從陸軍官校1984年畢業起開始

服務至今，看到榮民前輩們將青春花在國家建設、保衛家園上，年紀長後除了受國家照顧外，還有飄洋過海到異鄉打拼，但即便在國外還是願意為中華民國努力，出錢出力、做好國民外交、配合國家政策發展，真的不容易也相當感動，同時也感謝駐外館對榮光會的支持。

台北駐日經濟代表處橫濱分處處長張淑玲表示，日本榮光會是海外第一個榮光會，擁有相當悠久的歷史，長年以來除了配合退輔會舉辦活動外，也時常舉辦各種聯誼性活動，展現出強烈的凝聚力，並且也長期向祖國，支持政府和代表處，是代表處最堅實的後盾，在僑界的服務也是有目共睹。

楊主秘也特別與河會長交換紀念品，並在名譽會長李維祥帶領眾人乾杯後正式開始，在歡樂的氣氛中，眾人也紛紛向楊主秘致意，合影，結束時不僅特別進行三下的拍手禮儀，還一同高歌《中華民國頌》來歡送楊主秘。



楊駕人主秘致詞



眾人高唱《中華民國頌》歡送楊主秘

東京中華學校園遊會

喜迎新生加入大家庭

【東京／採訪報導】東京中華學校為了歡迎新生及轉學生的到來，於六月九日在校內體育館舉行2019年度迎新園遊會，活動由東京中華學校家長會主辦，除了提供各式各樣的台灣美食、豐富的抽獎獎品外，也希望透過園遊會活動，讓新加入的新生能更快融入學校這個大家庭。

家長會長張國信表示，從很久之前家長們就非常注重東京中華學校的園遊會活動，為了讓學生們有個快樂的回憶，家長都非常投入園遊會的活動，從四月開始就積極籌辦，希望讓每個來參加的家長或是小朋友都能玩得不亦樂乎。

校長劉劍城表示，活動前一天就有很多家長都很認真在準備要販賣的東西，每年這個時候他都會很感謝各位家長，因為這是我們東京中華學校每年最重要的一天，因為這一天每一班的家長都準備很多好吃的東西，希望小一新生和轉入生能快樂度過這一天。

在園遊會的開幕儀式中，學校也特別安排兩位學生以中日文歡迎新入學的小一新生和轉學生，還有學生演出熱情四射的啦啦隊和舞龍舞獅，將現場氣氛炒熱，場邊則是販售

各式各樣的台灣美食，像是小籠包、水煎包、珍珠奶茶等，甚至還有攤位配合端午節販售在日本難得一見的粽子，園遊會開始後，現場也湧入大量學生家長，以及周邊的住戶，讓東京中華學校變得熱鬧滾滾。



東京中華學校舉行園遊會歡迎新生加入



在日本難得一見的粽子



【大阪／採訪報導】世界華人工商婦女企管協會日本關西分會六月七日舉辦企業參訪活動，參觀大阪府府廳，東大阪市議會以及東大阪市中小企業製造展示中心，並參觀東大阪市優良企業等，活動行程豐富，參加的會員都表示收穫良多。

由俞秀霞會長親自帶隊的世華日本關西分會企業參訪團七日上午從會館出發，第一站是大阪府廳，這棟有近百年歷史的建築古色古香，當會員進入府議會議場和正對著大阪城的迎賓廳時，均發出驚嘆聲：這棟從大正時代(1926年)保存至今的大阪府

日常用品，大到機械、重機、甚至人造衛星以及火箭零件，都可以在該市獲得優良廠商。

接著一行又參觀了東大阪市推薦的優良企業野田金屬工業株式會社，由高齡超過九十歲的會長野田邦雄親自接待。野田會長經歷過二次大戰，他將在逃難時期親手製造的第一個鐵鍋保存至今，提醒自己不忘初心。該公司捨棄大量生產，堅持只製造根據顧客需求，量身定作的金屬製品，是一家沒有銷售部門的公司，精巧的金屬切割技術，吸引了許多客戶慕名而來，包括國際藝術大師野田正明將他的大型戶外金屬藝術作品都委託該公司製作。關西電視台還頒給他「隱市人間國寶」的認證書，稱他是日本匠人精神的代表人物。

結束了內容豐富的企業一日參訪活動後，會員們均表示收穫良多，並期待世華日本關西分會推出更多精彩的台日工商交流活動。



美麗大方的世華關西分會會員合影

京都華僑總會會長魏禧之連任 將積極推動京都台南締結友好城市



【京都／採訪報導】中華民國留日京都華僑總會六月五日舉行總會暨懇親會，會中順利選出下一任會長、副會長及理監事。會後在台北城台灣料理店舉行懇親會，駐大阪辦事處處長李世丙、京都市會議員寺田一博、京都府議會議員能勢昌博、京都日台親善協會會長小島裕史等貴賓以及京都華僑及留學生等近七十人出席參加。

會中會長魏禧之眾望所歸，順利連任下屆會長，並選出四位副會長沈幸齡、安田隆昌、李秀珠、黃俊清，常務理事劉佳玲以

待新的一年在魏會長的帶領下，會務持續發展壯大。

懇親會除了華僑之外，還邀請不少京都留學生參加，留學生們都很感謝京都華僑總會對留學生的關照，並且表示很喜歡京都，希望畢業後有機會在京都就職工作；懇親會場氣氛融洽，在歡笑聲中圓滿落幕。



李世丙處長(中)參加京都華僑總會懇親會



李世丙處長(中)與華僑合影

李世丙處長 在大阪日華親善協會發表演說

【大阪／採訪報導】台北駐大阪經濟文化辦事處處長李世丙六月五日在大阪日華親善協會活動發表演說，向日本各界友人介紹台灣現況和台日關係的重要性，內容精彩，獲得與會人士一致好評。

大阪日華親善協會六月五日在大阪威士汀飯店舉行令和元年祝賀會，有來自日本各界的重要人士及台灣僑界代表參加，李世丙處長應邀就台灣現況與台日關係發表演說。李處長表示，台日兩國雖然無邦交，但是往來交流十分密切，台灣是日本第四大貿易夥伴，日本是台灣第三大貿易夥伴，雙方去年貿易往來總額約672億美元；其中台灣對日輸出約231億美元，日本對台輸出約441億美元，可見雙方是十分重要的經濟夥伴。

在人口交流方面，去年台日之間的往來人數約680萬人次，其中台灣到日本的旅客近483萬人次，日本到台灣的旅客約197萬人次，預測2020年可望達800萬人次。台日

之間的航班不斷增加，目前僅關西機場每星期有180班次往來台灣，台灣已經成為日本人暑假出國旅行，以及日本高校修學旅行最熱門之地。

李處長表示，雖然台灣的面積只有3萬6千平方公里，人口是2358萬人，但是從經濟實力來看，台灣並非小國。去年台灣GDP是6026億美元，排名世界22；貿易總額5770億美元，排名世界19；世界競爭力排名13，世界幸福度報告排名亞洲第1。此外，台灣也積極參與國際社會，爭取加入重要國際組織；很感謝日本外相河野洋平日前公開支持台灣加入WHO，也期待在不久的將來，台灣有機會參加環太平洋連攜協定(TPP)。

李處長表示，台灣在明年一月將以公民投票方式，選舉下一任總統，目前各黨有意角逐的候選人很多，日本各界也非常重視這場選舉。台灣和日本一樣，主張民主、人權和自由等普世價值，台日雙方的



李世丙處長發表演說精彩演講

項目	世界ランキング
世界幸福度報告	アジア：1位 世界：25位
海外移住者が最も暮らしやすい国	1位(2016年) 4位(2017年) 2位(2018年)
安全な国	4位(2019年)

台灣的幸福度排名亞洲第一

京都華僑總會 歡喜包粽慶端午



【京都／採訪報導】中華民國留日京都華僑總會六月九日舉行端午包粽聯誼會，台北駐大阪經濟文化辦事處處長張永賢、京都市會議員寺田一博、京都日台親善協會會長小島裕史等貴賓以及許多京都華僑、留學生、和日本友人參加。

活動在京都的食文化博物館中的料理教室紫陽花館舉行，主辦單位特地請來京都中華料理名店「一之船」的名廚川崎誠指導包粽子技巧，以及製作黃金蝦球和回鍋肉二道菜，會場中笑聲不斷，這次活動有不少日本友人參加，他們大多是京都華僑總會開辦的中文學習班成員，不少人攜家帶眷前來，大家一起動手包粽，一同體驗傳統節日端午佳節的熱鬧氣氛。

駐大阪辦事處處長張永賢致詞時表示，他前日看了一部電影灣生回家，感觸良多，日台之間雖無邦交，但是能有如此深厚密切的交流和感情，大都仰賴民間的

四國華僑總會包粽大會 首度與香川琴平町合作

【四國／綜合報導】配合端午節來臨，四國華僑總會於五月三十日舉辦粽香飄四國的包粽大會，今年已經邁入第四年，同時也特別首次與香川縣琴平町合辦包粽交流活動，原本限定三十人，當日卻暴增了許多人，都想體驗包肉粽的樂趣及品嚐肉粽的美味。

這次四國華僑總會與香川縣琴平町合作，都是多虧在琴平町公所上班的陳芳如和上島彩會長精心籌備，芳如表示感謝大家在百忙之中前來參與並感謝上島會長的辛苦精心備料及當講師教大家包粽子，讓大家開心的度過有意義的一天。

參加者都能親身體驗包粽子活動，而且一個人都可以代五顆粽子回家，但在蒸籠打開的時候，粽味撲鼻香，眾人不禁食指大動，紛紛直接撥開粽葉大快朵頤，每個臉上都洋溢著幸福滿足的笑容。

駐大阪經濟文化辦事處僑務部蔡季穎課長也遠從大阪特地來赴約，關心四國僑胞，並貼心的幫僑胞們辦理僑胞卡、邀約琴平町當地居民到台灣觀光。最後上島會

洪勝信連任 大阪中華總會會長

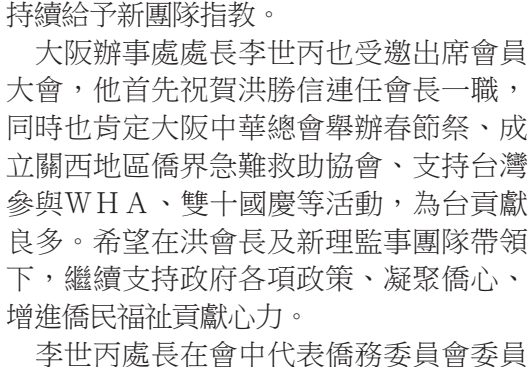
【大阪／綜合報導】中華民國留日大阪中華總會於六月十九日在大阪中華總會文化中心舉行108年度的會員大會及懇親會，這次會中也進行會長選舉，由洪勝信連任會長，同時也報告去年決算和今年預算，僑委會也頒發感謝狀感謝大阪中華總會積極推動台灣參與2019世界衛生大會。

洪勝信會長表示，大阪中華總會歷任僑界先賢的苦心經營下，才創出今日的規模與基礎，大阪中華總會的文化中心提供僑民聯繫情誼場所，同時也舉辦語言交換會、太極拳、氣功及瑜珈等各式各樣的課程，他鼓勵會員善加利用，也期盼會員持續給予新團隊指教。

大阪辦事處處長李世丙也受邀出席會員大會，他首先祝賀洪勝信連任會長一職，同時也肯定大阪中華總會舉辦春節祭、成立關西地區僑界急難救助協會、支持台灣參與WHA、雙十國慶等活動，為台貢獻良多。希望在洪會長及新理監事團隊帶領下，繼續支持政府各項政策，凝聚僑心、增進僑民福祉貢獻心力。

李世丙處長在會中代表僑務委員會委員長吳新與頒發感謝狀，感謝大阪中華總

會積極推動台灣參與2019年世界衛生大會，以及會長、副會長就任賀函。會後眾人也轉移到大東洋餐廳進行理監事聯誼晚宴，場面氣氛非常熱絡。



李世丙處長致詞



李世丙處長致詞



李處長代僑委會頒發感謝狀給洪會長



文化講座・展覧活動資訊 Information 全日本台湾祭り & 華僑イベント スケジュール

(東京) 陶笛台湾音楽コンサート

地點: ホテルリニティ書斎2階
時間: 7/3
主催: 台湾愛好会

(四國) 瀬戸内国際芸術祭(台湾出展)

地點: 瀬戸内海島、高松港、宇野港
時間: 4/26~11/4
主催: 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

(横浜) 「淬・煉」台湾當代芸術展

地點: 台湾文化センター、横浜市民ギャラリー
時間: 7/5~9/13 台湾文化センター
7/31~8/11 横浜市民ギャラリー
主催: 台湾文化センター

(宮城) 台湾ライフスタイル商品商談会(仙台初開催)

地點: ウェスティンホテル仙台
時間: 7/8
主催: 經濟部国際貿易局、台湾貿易センター

(東京) 台湾企業人材マッチング会2019

地點: KPガーデンシティ PREMIUM 秋葉原
時間: 7/12
主催: 經濟部投資業務処

(福岡) 台湾ライフスタイル商品商談会

地點: 西鉄グランドホテル
時間: 7/12
主催: 台湾貿易センター

(大阪) 台湾・大阪日用工芸創作交流展

地點: [89] 画廊、台湾文化センター
時間: 7/12~7/26(89) 画廊、9/20~11/24 台湾文化センター
主催: 台湾文化センター

(東京) 第3回通信・放送 Week(台湾出展)

地點: 東京ビッグサイト 青海展示棟
時間: 7/17~7/19
主催: リードエグジジションジャパン(株)

(東京) 2019台湾 MICE 産業説明会及び交流会

地點: ホテルオークラ東京
時間: 7/17
主催: 台湾貿易センター

(東京) 横濱 日本プレグ国際室内合唱団コンクール出発前コンサート

地點: 牛込東區区民ホール
時間: 7/17
主催: 台中室内合唱団

(東京) 赤道上のメイド・イン・タイワン: 蔡明亮・現代台湾馬華映像及び芸術

地點: 台湾文化センター
時間: 7/20~7/21
主催: 台湾文化センター

(東京) 泰雅心・東京情 泰雅學堂2019日本交流公演

地點: 錦糸町南口広場(7/24)、曳舟台湾文化センター
時間: 7/24、7/28
主催: 留日台湾同郷會 世華日本、關西、新竹、花蓮分會、台灣松山總會、有限会社いんえん

(東京) 2019年台湾最新ビジネスセミナー

~日本企業にチャンスを生み出す台湾のAIとIoT最新事情~
地點: JPタワー ホール&カンファレンス
時間: 7/26
主催: TIPO 台日産業連携推進オフィス

(東京) 2019台湾映画上映『2003年ぼくの旅』

& トークイベント「台湾映画のいま」~オリジナルリティと未来へ向けて~
地點: 台湾文化センター
時間: 7/27
主催: 台湾文化センター

(東京) MF TOKYO 2019(台湾企業8社出展)

地點: 東京ビッグサイト西1/2ホール
時間: 7/31~8/3
主催: 一般社団法人 日本鍛冶機械工業会、日刊工業新聞社

(群馬) 2019台湾フェア in 群馬

地點: 群馬県庁内県民ホール
時間: 7/5~7/6
主催: 群馬県台湾総会

(横浜) 横浜華僑協会第三十七屆理事就職披露宴

地點: 横浜中華街 同發別館
時間: 7/11
主催: 横浜華僑協会

(東京) 日本中華聯合總會第三十七屆第三次會員代表大會、第二十八屆會長選舉、第一次會員代表大會並びに同慶聯會

地點: ウェスティンホテル東京
時間: 7/13
主催: 日本中華聯合總會

(東京) 横浜台湾餐飲聯誼會第12回納涼會

地點: 横浜中華街四五六菜館別館
時間: 7/13
主催: 横浜台湾餐飲聯誼會

(東京) 日本&台湾ビジネス交流会

地點: 表参道ビジネスフォーラム
時間: 7/26
主催: 日台商務促進会

(東京) 台湾フェスタ2019

地點: 代々木公園廣場
時間: 7/27~7/28
主催: 台湾フェスタ実行委員会

(愛知) 台湾夜市 in 太田川2019

地點: 名鉄太田川駅西 大屋根広場
時間: 8/2~8/3
主催: 一般社団法人知多地域活性化プロジェクト内、台北夜市 in 太田川実行委員会

(東京) 東京タワー台湾祭

地點: 東京タワー
時間: 9/13~9/16
主催: 台湾祭実行委員会

摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩。行深波羅蜜多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。受想行識。亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是故空中無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色身香味觸法。無眼界。乃至無意識界。無阿耨多羅三藐三菩提。乃至無所可得。故。菩提薩埵。依般若波羅蜜多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜多。是大神咒。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。能除一切苦。真實不虛。故說般若波羅蜜多咒。即說咒曰。揭諦揭諦。波羅揭諦。波羅揭諦。菩提薩埵。菩提薩埵。



台北以外の台湾ガイド

本紙で人気連載中の「てくてく台湾旅」執筆者の松田義人さんの渾身の一作「台北以外の台湾ガイド」。初渡航以来27年間、百回以上台湾を旅した氏が描くコアな台湾ガイドでもある。これまで台湾に関する数々の著書を持つが、本職は編集デザインプロダクションの代表者でもある。

掲載箇所は文字通り「台北以外」の23エリア。台湾北から南まで300か所以上が網羅されている。当然写真もふんだんで、場所、アクセス方法、見所、地図との連動表記など、わかりやすくしかも見やすい。巻末にあるインデックスは地図の表記が大きく、地域ごとに区分されている。

なかでも、著者自らがこだわりのある「生活雑貨」の項目では、本紙の連載欄でもたびたび登場する「お買い物品」が一堂に。台北以外ならではの地方散策の魅力の一つとして紹介されている。

著者の経験から、「台湾の入り組んだ歴史、共存する多民族それぞれの文化や慣習が息づく地方こそ都会では味わえない静養やバカンスに最適」という。しかも、その地方を紹介する情報が少ないところに着眼し、「多く出回っている台北の情報を思い切って省いた」とする。しかも「地方へのアクセスは容易ではない」としながらも、「その苦労をもってしても、台湾の本当の魅力を知ることができる」と力説する。本書の真骨頂はまさにここにある。貴重なスポットである「地方巡り」を是非体験してほしいと。

なお、本書は約二年前から企画したという。きれいな写真にわかりやすいレイアウト。この本片手に台湾の地方をぐるりと一周したくなる、そんな一冊には、「多くの人の協力者のもとに仕上がった」と、著者は感謝を表している。



発刊日: 2019年6月15日
著者: 松田義人
発行所: 株式会社 亜紀書房
体裁: 160頁 A5判変形
定価: 本体1800円+税

台湾新聞267号読者プレゼント
応募券

読者プレゼント企画 台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様に本書「台北以外の台湾ガイド」をプレゼント致します! 応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代させていただきます(7月中に発送予定)。締切り: 7月15日(消印有効)
株式会社台湾新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

精通國、臺、日語服務親切 ※銀行匯款口座
三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店 (普) 3678888 (名義) 嘉南觀光(株)

營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073 新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

東京こころ日本語学校

Tokyo Kokoro Japanese Language School

台灣人經營・絕對放心・生活/宿舍/升學輔導 0 障礙

~4月・1年コース/10月・1.5年コース熱烈招生中~

☆台灣學生特別優惠價☆ 歡迎詢問陳小姐
(Email: tzingchen110@gmail.com / LineID: tzingchen110)

〒174-0071 東京都板橋区常盤台3-25-2(上板橋駅徒歩10分)

一棟売アパート	練馬区桜台	共同住宅	大田区上池台	店舗・事務所・共同住宅	板橋区西台	収益マンション	練馬区氷川台	店舗・共同住宅	練馬区大泉学園
価格: 1億2,000万円	価格: 31,800万円	価格: 31,800万円	価格: 34,300万円	価格: 34,300万円	価格: 32,800万円	価格: 32,800万円	価格: 27,000万円	価格: 27,000万円	価格: 27,000万円
所在地: 東京都練馬区桜台 交通: 西武池袋線「練馬」駅徒歩10分 土地: 214.62㎡(64.92坪)所有権 建物: 共同住宅 2階建 4軒 (2DK) 駐車場: 4台分付 築年数: 昭和55年(築39年) 現況: 全空(空室)	所在地: 東京都大田区上池台 交通: 都営浅草線「西馬込」駅徒歩14分 東急池上線「洗足池」駅徒歩16分 土地: 287.04㎡(86.82坪) 建物: 536.97㎡(162.43坪) 満室 築年数: 平成16年6月 (所有権) 利回り: 6.28%	所在地: 東京都板橋区高島平 交通: 都営三田線「西台」駅徒歩4分 土地: 439.11㎡(132.83坪) 建物: 1,265.10㎡(382.69坪) 満室 築年数: 昭和57年4月 (所有権) 利回り: 8.03%	所在地: 東京都練馬区氷川台 交通: 有楽町線「氷川台」駅徒歩2分 土地: 274.38㎡(82.99坪) 建物: 770.69㎡(233.13坪) 満室 築年数: 平成4年1月 (所有権) 利回り: 6.24%	所在地: 東京都練馬区大泉学園 交通: 西武池袋線「大泉学園」駅徒歩12分 土地: 261.16㎡(79.00坪) 建物: 613.63㎡(185.62坪) 築年数: 平成11年 (所有権) 利回り: 6.3%					



李友會呼籲台日美加強三方合作

【東京／綜合報導】日本李登輝之友會於五月二十九日在東京舉辦「日美台安全保障合作的方向性」國際研討會，並於會中公布草擬的「日台交流基本法」草案，內容著重於維護國民生命財產事項，日本國會議員石破茂、長島昭久和中西哲均皆樂觀其成。

「日美台安全保障合作的方向性」國際研討會是由「日美關係研究所」主辦，成員以李友會會長、拓殖大學前校長渡邊利夫為首的友台日本專家學者，這次的參加者包括岡崎研究所理事金田秀昭、平成國際大學教授淺野和生等十多名日本學者，美方有國防部亞太安全事務前助理部長葛瑞森、前美國

國防部日本事務主管詹姆斯奧爾等美國亞洲事務專家及智庫學者數人參加，台灣則有台灣智庫副執行長賴怡忠、國防安全研究院研究員林彥宏與會。

研討會中，多數學者對於最近中國持續對台灣施加壓力，還以假消息操弄台灣政情表示憂心，因此在會議結束前，發表共同聲明呼籲在日美台三方合作，以防備台灣發生事情的時候。

該聲明中提出六項建言，包括邀請台灣參加日美共同舉辦的人道性地區海洋安全保障訓練、日台舉行官方「安全保障對話」、而在日台安保對話前，先開始日美

台三方的官方安保對話、日本制定「日台交流基本法」、台灣對日、對美間的協定或備忘錄法制化、應對中國的對台間諜活動。

淺野和生也代表李友會在研討會上公布該會草擬的「日台交流基本法」，共有七條條文，包括法律上保障台灣人在日本依法取得、將來取得的權力，賦予日台兩協會處理雙方交流事項各種協議的法律基礎，賦予台灣駐日機構法人資格，以及駐日職員準外交官身分和豁免權，在情報共享上，授權日本政府在有必要時可對台灣政府提供必要情報。

周東寬推動老人健康 長輩唱歌跳舞學太極

【埼玉／採訪報導】為了促進老人們的健康，以及鼓勵他們與人群互動，健康之友會「ふれあい」於五月三十一日舉辦第十八屆健康祭，安排許多歌唱演出及講座，其中特別請到駐日代表謝長廷教導自創的《流體太極》，民眾直呼看似簡單的動作，實際上卻很難做到。

健康祭固定一年舉辦兩次，今年已經邁入第九年，活動從一開始就有歌唱活動、吟詩、氣功等，包含多位專業歌手來歌的饗宴，下午則是從歌舞表演開始，帶動所友人一同跳舞，接著由駐日代表謝長廷進行演講，以及教導自創的《流體太極》，最後則是由田中旨夫醫師與周東寬醫師以健康相關的主題進行演講，現場吸引不少長輩參與，氣氛非常熱絡。

為名。過去謝代表曾在臉書上示範，這次雖然有現場示範教學，但讓民眾直呼看起來很簡單，做起來很困難。

周東寬醫師表示，健康祭的目的主要是讓長輩們可以出來活動，讓他們的生活有目標，也想趁這次機會傳達給長輩們知道，真正的健康就是要活動身體，而且也能透過活動交朋友，讓長輩們不會感到寂寞，甚至是擔心發生問題時孤單一人，大家都可以互相幫忙。



周東寬醫師高歌一曲

謝長廷代表提到，流體太極跟一般的太極不一樣，一般的太極是功夫，流體太極是從套路拳架解放，隨興自然，依身體狀況而動，如行雲流水，但當中還有圓行運轉、循環、陰陽互根，以及欲左先右，所以以太極

台灣喔熊與阪神虎將合體 為甲子園台灣日加油

【神戶／綜合報導】台灣虎航與台灣觀光協會大阪事務所、阪神甲子園球場合作，於六月十九日、二十日在甲子園球場舉辦「台灣日(台湾デー)」活動，今年已經邁入第四年，活動邀請到台灣歌手，以及台灣虎航網紅「虎將」、台灣觀光大使「喔熊」為球賽應援。

等充滿台灣味的美食。值得一提的是，神戶市甲子園觀光設施更特別運來三噸的人造雪，宣傳其「真夏之雪祭」活動，冰涼的白雪景象也為炎熱的夏日帶走不少暑氣。

除了以設攤形式宣傳台灣旅遊特色外，台灣虎航今年更邀請所有球迷來進行賽事預測，若完全猜對六月二十日的贏球隊伍、雙方比分差距及阪神虎隊的全壘打支數，就有機會獲得大阪關西或岡山出發的來回機票，共計送出十張；而兩天也大方送出高達一百張大阪關西出發的來回機票給到球場觀賽的球迷，期望延續台灣日的美好氛圍，歡迎更多當地民眾搭乘台灣虎航來親自感受台灣濃厚的人情味並品嚐在地美食。

活動兩天由台灣觀光協會大阪事務所所長陳冠竹及台灣虎航董事長張鴻鐘繼續進行開球儀式，更邀請到台灣當紅人氣樂團宇宙人主唱小玉、台灣創作才女黃小玫共襄盛舉，一同參與見證這日熱絡交流的時刻。而台灣虎航網紅「虎將」也首度在甲子園登台亮相，與好夥伴「Kuroro」、台灣觀光大使「喔熊」一起來為球賽應援！



台灣虎航董事長張鴻鐘(左一)、大阪辦事處處長李世丙(中)、大阪事務所所長陳冠竹(右二)造訪台灣日(台灣虎航提供)

「台灣日(台湾デー)」以日台交流為出發點，再加上今年是大阪事務所設立二十週年慶，為感謝所有球迷對台灣一直以來的支持，今年球場周邊攤位活動格外豐富，六月十九日有宇宙人的講座見面會，分享音樂創作及私推的台灣景點，還有來自中華職棒四隊的甜美啦啦隊員與當地球迷互動拍照。活動中在台灣虎航攤位拍照打卡上傳個人SNS，即贈送精美小禮，其他攤位則可品嚐到蔥抓餅、炸雞排、乾拌麵及珍珠奶茶冰

台南市烹飪商業同業公會訪日 盼發掘商機交流



【新潟／綜合報導】台南市烹飪商業同業公會理事長李日東、常務理事王勇添、以及多位會員朋友、近三十家業者的參與下，一行於五月二十七日起，前往新潟進行六天的友好交流拜訪考察。

此次規劃了相當豐富的行程，包括拜訪新潟知事、與發田市市長的官方行程，也安排參訪了如：菊水酒造、日東企業、栗山米果、佐藤食品以及此次積極協調安排

豐富行程的Hard off等當地多家知名企業。

發田市二階堂市長積極推廣興發田農產品，2018年在烹飪公會理事長李日東以及總部位於該市的Hard off 二手商品連鎖集團社長山本善政聯手引薦下來到府城台南進行友好交流及農產品推廣，也因此結下了深厚情誼。

身為台南烹飪公會、同時也是台灣連鎖加盟促進協會理事長的李日東，長期致力



推動日民間友好交流活動，此次帶領近三十家會員企業到新潟考察，亦是希望雙方的互動連結能更進一步。

拜訪過程中，台南市烹飪商業同業公會一行感受到日本企業在行程安排及接待等等的細節上都非常的謹慎用心，烹飪商業同業公會表示，此行目的就是為了讓來訪的團員們都能賓至如歸，這也是民間外交互動交流最難能可貴的地方，期待藉由這次的行程，能夠促成更多的商機交流，農產品的持續推廣、台南直飛新潟的航班等，這些都是非常有可能的商機，未來更會持續努力。

京都台灣話教室 促進日台文化交流

【京都／採訪報導】一個周六的午後，在京都世界遺產稻荷神社附近的一座公寓樓中，意外地傳出朗朗台語聲，原來這裡有個面向社區開放的台灣話教室，在一群熱心的京都華僑的支持下，默默耕耘了十多年，為宣揚台語文化及促進日台交流作出許多貢獻。

很優秀，還有學員找出早期日人出版的日台語辭典，作成光碟送給校長和老師，讓她十分感動。

現任校長是律師暨僑務委員張雅孝，講師是李惠卿老師。該教室成立於2003年四月，創辦人是台灣醫師陳世澤，曾任相思會會長，陳醫師在行醫的過程中，發現來看病的台僑第二代，幾乎都不會講台灣話，覺得有需要傳承和發揚台灣文化，因此邀請了幾個友人，包括王輝生醫師、高輝陽教授、華山拓明醫師和張雅孝等人，一起開辦台灣話教室，由陳世澤醫師擔任第一任校長，高輝陽教授擔任第一任講師。前幾年陳醫師身體不適，由華山拓明醫師擔任第二任校長，現任的張雅孝是第三任校長。

京都華僑們十多年來，一步一腳印，默默為宣揚台灣文化貢獻心力。張雅孝表示，他們的目標是在三年後，在京都建立一個台灣文化中心，透過學習台灣話，恢復並保存失落的母語，讓更多日本人和僑胞，有機會學習台灣文化，增強日台間的文化交流。



台灣話教室上課風景

目前學生有二十多位，學員以日本人居多，還有幾位台灣留學生。講師李惠卿老師講課十分輕鬆風趣，其日本夫婿久保耕治是退休高中教師，相當熱愛台灣文化，出版過台灣文化的研究論文，夫妻都對發揚台語文化十分熱心。

日本學員的學習態度相當認真，提問踴躍，只見大家跟著老師學習有趣的台灣俗語，例如「鴨仔聽雷」，意指「聽無」；還有「墓仔埔放炮」，意指「驚人」，課程中笑聲不斷。李惠卿表示，學員個個都



台灣話教室學員們與張校長和李老師合影

台灣荔枝再銷日本 業績可望達七千公斤

【東京／採訪報導】去年成功將荔枝送往日本的上銀科技今年再次與中興大學合作，於六月二十四日在東京半島飯店舉辦推介會，經過保色、防失水技術的「台灣頂級鮮荔枝」再度呈現在日本媒體和業者，雖僅在線上訂購系統銷售，但仍預估今年業績有望上看七千公斤。

持鮮紅的色澤，如此一來即便身在日本也能享用到鮮美的荔枝。

卓永財也提到，這樣的做法也是拋磚引玉，希望能有更多台灣農業結合高科技技術，不讓工業專業美於前，他也願意用荔枝銷日做為示範，並透過產官學合作，把台灣農業打造成高質化的區塊，才能有效的提高年輕人返鄉務農的意願。

準去年日本反應熱烈，銷售超過兩千公斤，因此上銀仍持續到日本行銷，預估今年可望達到七千公斤。

貿協東京事務所主任陳英顯表示，日台貿易交流最重要的功能不僅是買賣東西，而是一種品味美好生活的「提案」，希望藉此讓日本民眾了解台灣有那麼好吃的東西，並進一步吸引他們直接到台灣品嚐，而為了讓荔枝在日本有更好的通路，有規劃邀日本大型通路商到台灣的產地考察、試吃、洽談。

陳英顯也提到，台灣農產食品在日本大受歡迎，去年銷日成長16%，今年到五月為止又成長了16%，除了芒果之外，他也希望香蕉、鳳梨和荔枝等能再加強，特別是明年東京奧運期間，有幾千萬外國旅客聚集東京，要趁機那期間行銷台灣的農產食品、加工食品及製造業，提升台灣的形象。



今年台灣荔枝銷日可望達七千斤

會促成台灣荔枝銷售日本，全歸功於台灣的工具機大廠上銀科技，之所以會跨行賣荔枝，上銀科技董事長卓永財表示，他時常到日本出差，但是在日本吃到的荔枝都是黑色外殼或果肉脫水的，跟台灣的荔枝不一樣，因此希望能將台灣荔枝銷往日本，目前的技術已經將保鮮期延長到三十天，未來可望達到四十天的保鮮期，對外銷會有很大的幫助。

上銀贊助中興大學教授謝慶昌和林慧玲帶領的團隊，經過三年的時間研發出「保色、防失水技術」，讓本來保鮮不易的荔枝經過蒸熱殺菌和冷藏後，外殼還可以維



日總第二次理監事會 齊聚山梨探討會務



日總參訪本酒寺

【山梨／綜合報導】日本台灣商會聯合總會於六月十五日、十六日在山梨石和VIEW飯店舉行第七屆第二次理監事聯席會議，日本六大商會成員齊聚一堂，探討會務發展，第二天則造訪佛光山本願寺等點，眾人對於河道台總會長和團隊的安排非常滿意，也一同期盼會務能蒸蒸日上。

這次的議程中，除了會務和財務報告外，為了即將到來的亞總理監事會，眾人針對過去一直沒有明立的亞總和世總理提報資格規定討論，為了避免浪費名額，也會要求理事全勤出席，同時日總執行團隊也允諾會爭取更多名額，讓更多日本的台商參加，幫助日總發揚光大。

另外會中也有討論第七屆理事會榮譽職、諮詢委員及資深理事聘任案，以及日總會長

交接應徹底執行，包括交接遵循事項、移交款項金額等事宜，前一任監事長要負責監交。會議結束後，日總團隊也安排了懇親會，慰勞長時間開會的理監事們，眾人載歌載舞、把酒言歡，讓現場氣氛變得熱鬧滾滾。

第二天在日總團隊的安排下，前往佛光山本願寺禮佛，監院如僧法師特別親自接待，並與大家分享能透過三好做為行佛的準則方針，以及提倡素食，常住也以大師所著的《貧僧有話要說》、《迷悟之間》、《獻給旅行者的365日》和三好四給繪馬作為智慧伴手禮，希望大家在日常生活平安喜樂，為僑民服務。

河道台總會長也感謝大家這次踴躍參與第二次理監事會，並提供許多寶貴的建言

讓日總能走向更健全和團結、和諧，也感謝鄭玉蘭會長安排住宿活動，讓大家在賓至如歸的感覺，並全程陪同。



監院如僧法師特別親自接待

觀光局盼在「東北絆祭」期間加強日本民眾對台印象



觀光局深入日本東北有成 來往人數航班創新高

【仙台／綜合報導】日本仙台從今年四月二十五日、七月十六日起，與台灣的航班中，樂桃、長榮增班為每日飛行，下半年仙台每週將有十九個航班往來台灣，遠東航空飛秋田、福島兩地也從三月三十日、四月四日起改為長期包機，屆時日本東北地區運能增加，讓台日交通變成更加便利。

仙台是東北第一大城，所在的宮城縣每年約有三萬人前往台灣，為開拓東北客源，觀光局已連續多年在仙台七夕祭期間，前往仙台車站辦理推廣活動。

今年五月三十一日除了在仙台車站舉辦Roadshow活動外，也同時在仙台機場舉辦台灣特色的祥獅祥龍獻瑞、電音三太子、鑼鼓等傳統民俗表演，傳達台灣文化魅力，現場還進行有獎徵答及台灣觀光資訊分享等活動，拉近與民眾的距離。

交通部觀光局東京事務所鄭憶萍主任表示，本次另一個重點推廣活動是將首次參加六月一日至二日的「東北絆祭」祭典踩街遊行，台灣代表團將擔任先行隊伍，以三太子、舞龍舞獅的「龍神之舞」祈求福島等東北六縣安泰幸福安寧，如福島之名「福到」一樣，幸福到來。

而「東北絆祭」原名為「東北六魂祭」是東北地區為重振311震災，特將東北地區知名祭典如盛岡三瀨祭、山形花笠祭、福島草鞋祭、仙台七夕祭、青森睡魔祭、秋田竿燈等六大祭典齊聚一堂，是合力振興當地觀光的重要新興慶典。

鄭主任也提到，該祭典於2011年起每年輪流於東北六縣舉辦，今年再次回到福島縣福

島市舉辦，預估將再吸引30萬以上的民眾到場欣賞。台灣是第一個參與的外國隊伍，不僅將成為本次參加團體中的亮點，更可一口氣增加在東北六縣的曝光宣傳機會，可說是推廣觀光、招攬旅客的絕佳機會。

鄭主任說，觀光是平台、是載具，本次活動首次與日前在農委會見證下，與旗山果菜運銷合作社簽署合作契約的日本通路商合作，要在仙台、福島二地三場活動的台灣觀光局攤位發送3,000根香蕉，推觀光的同時兼負台灣農特產品的推銷，要將台灣最好的觀光景點及優質農特產品讓更多東北的民眾知道。

曾參與晴空塔台灣觀光fair、世大運開幕的「台北慶和館醒獅團」於五月三十日至六月三日前往日本東北的仙台、福島地區進行推廣活動。在台日間交流日趨熱絡的氛圍下，觀光局希望能帶給日本民眾深刻的印象，再加上台灣相較其他國家有「親近感、安心安全、距離短、交通便利、美食美景」等旅遊優勢，長期以來都是日本民眾出國旅遊的首選目的地之一，讓下半年的旅客成長，再次突破來台人次。

觀光局也提到，去年訪台的日本旅客約197萬人次，創下史上最高紀錄，更一舉拿下黃金週、暑假、新年假期人氣度第一名的三冠王寶座。今年四月日本黃金週10連休，單月訪台日客人數達16萬6,364人次，成長30.85%，為今年赴台目標注入一劑強心針。

「Time for Taiwan」隊伍



觀光局率團赴札幌 推廣小鎮魅力

【札幌／綜合報導】日本一直以來都是赴台旅遊的主力市場，為了擴大客源，交通部觀光局周廷毅副局長於六月六日至十日，帶領台南應用科技大學舞蹈系學生赴北海道札幌參加「第二十八屆YOSAKOIソーラン祭り」。在宣傳台灣小鎮文化特色和魅力的同時，也推動台日青年的交流。

觀光局為了參加日本地方知名祭典宣傳台灣觀光，以及推動台日青年交流的角度切入，因此鼓勵台灣優秀表演團體組成

「Time for Taiwan」隊伍，共同赴日參加擁有二十八年歷史之北海道夏季重要大型觀光活動「YOSAKOIソーラン祭り」，結合傳統宗教活動中的「娘傘」、「舞龍」、「跳鼓」及「老背少」等，以活力、熱情舞出台灣傳統藝陣之美，在北海道街頭重現臺灣小鎮文化特色與魅力。

「Time for Taiwan」隊伍配合交通部觀光局「2019小鎮漫遊年」及日本市場宣傳主軸「Meet colors!台灣」，團員們身著色



舞團在札幌的街道上踩街

彩繽紛的服裝，在台灣傳統音樂旋律下，揮舞龍頭、團扇及客家花布元素的大旗、油紙傘等道具，體現「文藝台灣」、「多彩台灣」、「活力台灣」。

這次的演出，台灣表演團隊在大會舞臺定點表演及於札幌市區人潮聚集處如大通公園、JR札幌車站南口等地遊行踩街外，同時也前往當地老人院進行慈善義演人文關懷。

札幌是北海道道廳的所在地，也是日本人口第五大都市，目前已有華航、長榮等多家航空來往北高。透過來自南台灣舞蹈系學生們的台灣傳統藝陣演繹，與其他近300支參演團隊互相切磋交流，促進年輕世代相互認識學習，並運用台灣「年輕力」讓參加祭典的隊伍及近200萬名的日本國內外旅客留下深刻印象，吸引更多日本旅客來台體驗多樣小鎮魅力。(資料照片提供：觀光局)



日本大道院純陽宮年度大法會 信徒祈天賜福保平安

【千葉／採訪報導】宗教法人日本大道院純陽宮於六月一日至六月三日舉行祈天賜福三日大法會，今年台灣的中華玄門總會也特別率領一百多位信徒志工一同參與，希望透過法會讓民眾能替家人消災、招福，再加上日本過去一年多災多難，盼能祈求今年國泰民安。

法會從第一天開始進行接神祝壽儀式、開斗火、七星科儀等，包括僑務諮詢委員黃宗敏、東京媽祖廟董事長詹德薰，世華日本分會會長林裕玲，台灣新聞社社長錢妙玲等多位僑領、信徒都從專程從東京、千葉等地前來參拜，香取當地的首長、民代等也都固定參加。

文宣會長林茂博表示，純陽宮每個農曆月的初一、十五日都會舉行團拜，新年和這次活動是每年都會固定舉行兩大法會，目的希望讓信徒們可以祈求平安，也替家人消災、招福，以及幫忙信徒淨車，淨身等，同時也準備了供品超渡無形眾生，讓他們能早升極樂，往生淨土。

玄證會長表示，法會也會準備素食供信徒享用，一方面是幫助信徒不要與眾生結怨，一方面是讓信徒有機會品嚐到素食，因此餐點上都特別花心思，不僅是準備各式各樣的台灣素食料理，也希望讓信徒在品嚐完後，能發自內心的喜歡上素食。而今年的法會時間剛好時逢端午節前夕，除了一般常見的壽桃、糰之外，也特別準備粽子讓信徒帶回家。



祝壽儀式



時逢端午節，廟方也準備粽子讓信徒帶回家



七星科儀



不少僑領信徒皆前來參拜

SINBON 日本信邦電子株式會社

《人才招募》隨著台灣製及中國製電子零件在日本市場的銷售事業急遽成長，我們需要下述優秀人才一起加入我們的團隊。

工作內容：印刷電路板(PCB)專職業務
產品內容：線材加工，連接器，印刷電路板(PCB)，PCBA各種電源機器，EMS
雇用形態：正職員工
年齡條件：25至40歲台灣人或日本人(男女不拘)
經驗條件：高專畢業以上，精通日語及中文並達到商務需求水準，具備電子零件業界2年以上實務經驗
勤務場所：名古屋本社
日本信邦電子株式會社
〒460-0012名古屋市中區千代田4-1-7
TEL: 052-322-0168 FAX: 052-322-8599
Email: salesjapan@sinbon.com
聯絡窗口：田上 浩 (Mr. Tanoue)

第一銀行 First Bank 東京分行

徵求菁英

工作內容：一般銀行業務
應徵方法：請郵寄附有照片之履歷表至本行。
聯絡方式：Tel: 03-3279-0888 FAX: 03-3279-0887 E-mail: i951a@firstbank.com.tw
連 絡 人：高木課長(分機1111)
地 址：〒100-0004東京都千代田區大手町2-1-1 大手町野村ビル23階
交 通：JR線 --- 東京丸の内北口より徒歩5分
地下鉄 --- 千代田線、半藏門線、東西線、丸の内線、三田線の大手町駅A5或いはB2a出口より徒歩約1分

「GUABAO刈包」是由一群二十多歲的年輕人一同創立



一解鄉愁 道地台灣刈包飄香池袋

【東京／採訪報導】對遠赴國外打拼的遊子來說，要能吃到家鄉味非常困難，在池袋就有間專門販售刈包的「GUABAO刈包」，是由多位二十幾歲的年輕人創立，不僅是實現他們的開店夢想，也是將台灣的經典美食刈包重現日本，讓台灣人能一解思鄉愁，也讓日本人發現台灣不一樣的美食。

走進位於池袋的「GUABAO刈包」，就能聞到陣陣的滷肉香，店內在主打刈包的同时，也販售茶葉蛋、香腸、古早味紅茶的。而「GUABAO刈包」的刈包除了肥嫩不柴的五花肉外，台灣最經典的香菜、酸菜、花生粉都加在其中，鹹甜融合的滋味完整重現台灣的刈包。

副店長王音筑表示，會選擇主打刈包，是因為他們在留學時，從跟朋友聊天中發現大家都有在日本開小吃店的夢想，再加上台灣美食有很多種，討論要從哪一個方向開始著手，而且還要能讓人接受的口味，才知道彼此都喜歡台灣滷肉，因此最後決定選擇刈包。



美味的刈包飄香池袋

店長鄭觀泰提到，刈包在台灣叫做「虎咬豬」，諧音有「福咬住」留住福氣的意思，而早期的台灣人會在節慶的時候將肉夾到刈包，並加入許多小菜，變得像金元寶一樣，然後再分送給親朋好友，象徵著將福氣分享給其他人，這剛好跟他們開店理念一樣，希望將福氣分給在日本的異鄉遊子，也將好味道分享給日本人。

王音筑說，日式滷肉和台式滷肉差異很大，日本多以柴魚片、味醂為主，台灣則是重視中藥材，因此花了不少時間找尋日本人能接受的中藥材。鄭觀泰也說，在這部份遇到蠻多挫折，拜訪過好幾間中藥材店，才找到日本和台灣人都可以接受的，而酸菜也都是從台灣進口自己來調味，再加上日本很難吃到的花生粉，剛好是日本人會喜歡的鹹甜口味。

為了呈現台灣最簡單、最道地的味道，「GUABAO刈包」店內的香腸機、飲料都是從台灣搬過來，古早味紅茶也是使用台灣的茶葉，鄭觀泰表示，台灣的茶葉喝完的餘韻會有咖啡的味道，考慮到營養成分，店內也是用蔗糖而不是使用糖精，是希望提供給民眾更健康、安心的餐點。

在日本創業面臨最大的困難往往都是資金，「GUABAO刈包」多虧一群志同道合的夥伴一同出資，才克服這項問題，但大家之前都是學生，缺乏實作經驗，身邊也沒有資源，鄭觀泰說，過去放假回台灣時，都會到北中南的刈包店拜訪，觀察他們的操作和滷肉的調味，過去這期間為了調味就試了上百斤的滷肉。

鄭觀泰也說，開店前拜訪了很多日本和台灣前輩，也下了很多功課，但是在食材取得和食物上的操作真的很不容易，多虧有友盛貿易的鄭尊仁社長提供食材管道相關的資源，以及寶貴的意見，才讓他們能順利開店，真的很感謝鄭社長。

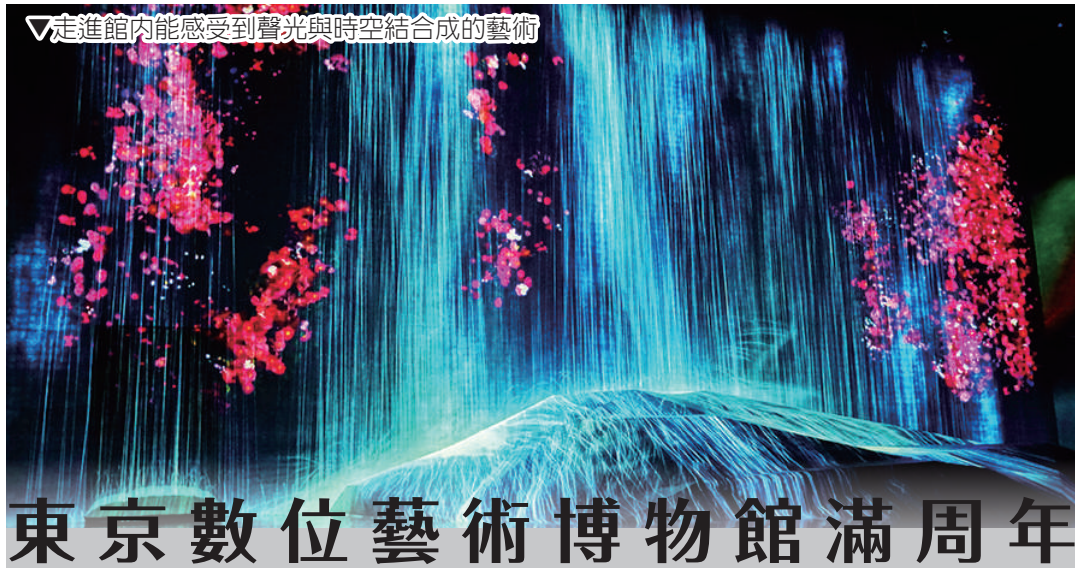
鄭觀泰提到，在異鄉的遊子要吃到價錢實惠的家鄉味蠻困難，也沒有什麼時間能自己煮，因此提供刈包時，不僅只當成商品，而是提供真正的台灣味，當他看到前來購買的台灣人感激他們提供家鄉味時，讓他相當感動。而提供給日本人時，每項餐點都代表著台灣，因此都要很用心製作，不會希望店做得多大，只希望能做到最好。

王音筑也說，大家都不是專業，不論是攝影師還是美編都是第一次嘗試製作跟飲食相關的，但「GUABAO刈包」就是年輕人的平台，提供交流的機會，節自己的專長，互相關心，一起努力打拚的感覺，就像一家人一樣。



現場還有販售台灣傳統飲料

走進館內能感受到聲光與時空結合成的藝術

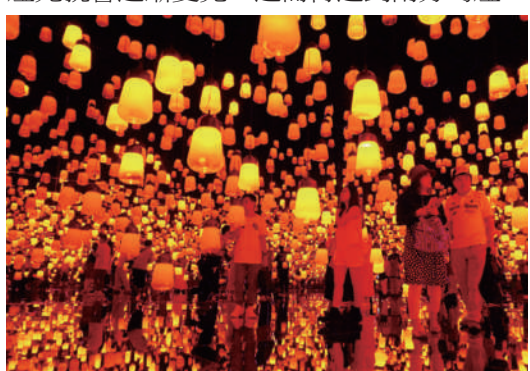


東京數位藝術博物館滿周年 吸引230萬人造訪

【東京／採訪報導】位於東京台場的森大廈、藝術團隊「teamLab」聯手打造的數位藝術博物館於六月二十一日屆滿開幕一周年，一年來吸引高達兩百三十萬的遊客參訪，特別是五月美日第一夫人造訪後，外籍遊客更是上升不少，室長杉山央也特別對台灣媒體表示，歡迎台灣朋友一起欣賞聲光與時空結合成的藝術。

數位藝術博物館企畫營運室長杉山央表示，這一年來已吸引來自一百六十國、兩百三十萬名遊客前來觀賞，與東京國立博物館、石川縣金澤二十一世紀美術館等日本知名場館進場人數相當，算是日本的頂級紀錄，遊客半數都是外國人，美國占27%、澳洲占10%。而面對即將來臨的2020東奧，杉山希望吸引更多遊客來體驗以「無界」為概念的數位藝術博物館。

數位藝術博物館內各展區都有非常特色，沒有特別規劃參觀路線，讓遊客自由體驗藝術，像是「燈之森林」展區有類似台灣平溪施放天燈的美景，而只要遊客站到燈旁邊，燈光就會逐漸變亮，進而傳達到兩旁的燈，



館內也有類似平溪天燈的美景

呈現出共振的感覺。另一座茶屋「EN TEA HOUSE-幻花亭」，可付費品茶體驗滿滿的禪意，茶杯端上桌時，杯中會因為燈光的照射，浮現出花朵，並無限盛開，讓遊客把「無界」的世界喝入腹中。

而館內的作品依季節更換，像是「地形的記憶」展區，展現出日本里山地景，水田景觀會隨著季節變換，像是綠油油一片的夏季，或是紅葉和金黃稻穗搭配的秋天，另外也展示日本古典文化、浮世繪、漢字等意象的作品。像是江戶時代中期的知名畫家伊藤若沖的畫作「鳥獸花木圖屏風」、「樹花鳥獸圖屏風」意象的數位藝術。

「teamLab」是一群東京大學和東京工業大學的學生於2001年創立，包含藝術家、工程師、CG動畫師、數學家、建築師與網頁設計師等專業人士，利用電腦和投影機以聲光製造出如夢幻數位裝置藝術，打造全新型態的數位藝術，並強調藝術「無界」，作品和作品、作品和鑑賞者、自己與他人之間均無邊界。teamLab也在台灣、美國、歐洲、東南亞舉辦過巡迴展。



官方希望讓遊客體驗無界的藝術

台灣夜市IN赤羽首登場 盼推廣夜市文化



【東京／採訪報導】日本首次的台灣夜市於六月一日至二日在赤羽舉行，集結各式各樣的台灣美食，包括雞排、小籠包在內，看起來與一般的台灣祭大同小異，但日台夜市委員會會長李昌宏不僅對食物的口味非常要求，同時也推廣台灣的夜市文化，以及報答北區的幫忙之恩。

過去的台灣祭大多以東京鐵塔、上野、代代木等地聞名，這次在西赤羽商店街連合會主辦，日台夜市委員會承辦，首次以台灣夜市為名的活動於赤羽舉行，時間也配合夜市的名稱，一路到晚上九點才結束，除了常見的炸雞排、小籠包，現場還販賣鐵板麵、雞肉飯，以及日台夜市限定台灣啤酒，活動中還安排了各式各樣的表演、講座，以及台灣電影的放映等。

日台夜市委員會會長李昌宏表示，會想舉辦這樣的活動純粹是因為自己喜歡吃雞排配珍珠奶茶，並想將這些美食分享给更多朋友一起享用，再加上日本沒有夜市文化，日本的夜生活都是居酒屋大人的世界，所以很希望將夜市文化引進到日本，因為在台灣夜市是老少咸宜的場所。

不過一般台灣祭都是為了努力宣傳台灣，促進日台交流，但在台灣夜市卻還有另一層面的意義，李昌宏提到，當初五年前來北區創業時卻四處碰壁，但好在有區公所等協助，讓他能順利創業，因此才決定在赤羽舉辦台灣夜市，回饋當初獲得的恩惠給北區的民眾。

李昌宏也提到，這次活動從零到有得到了許多人幫忙，像是東京商工會議所北支部越野會長、日台文化交流基金錢妙玲會長、北區的各大商店街等人的幫忙，才能讓他推廣台灣夜市的夢想跨出第一步，也希望未來有朝一日能看到夜市在日本盛行。



炸雞排

台灣留學展開跑 日本學生詢問不斷



台灣的大學專程赴日為學生介紹留學相關事項

【東京／採訪報導】台日近年來關係良好，讓不少日本學生都想赴台攻讀大學，為此日本台灣教育中心從六月二十日起舉辦四場台灣留學展，其中第二場於二十二日在東京中華學校舉辦，除了中華學校的學生外，不少日本當地的高中生在家長的陪同下前來詢問，希望能一圓台灣留學夢。

留台的日本學生畢業後不僅能具備中、日、英三種語言能力，回到日本也都能找到知名集團的工作，因此讓台灣留學在日本逐漸開始流行起來，今年的留學展出席學校包括台灣大學、成功大學、高雄餐旅大學、淡江大學、世新大學、長榮大學等十九所學校，主辦單位也開放中華學校以外的學生參與，吸引不少人前來。

日本學生數逐年都在成長，且成長速度快，目前共有九千一百九十六名學生在台灣讀大學，就讀的科目領域相當廣泛，從文科、理科、國際關係等都有，到台灣學華語的學生也很多，是現在市場的重要趨勢之一，希望每年都能到日本舉辦留學說明會，跟日本多一點實質的交流，互相學習、觀摩，特別是台灣的大學都非常優質，大多都以人為本的教育環境，能讓日本學生感受到舒服、溫馨、友善的環境，進而引領到台灣留學的風潮。

東京中華學校副校長劉秋美表示，今年東京中華學校的二十四位畢業生中，就有十位回台就讀大學，每年回台的人數都有在成長，很感謝陳執行長帶領各校教授老師來日宣傳，不僅本校學生會參加，東京附近的學生都會前來。而東京中華學校身為地主，擁有利之便，希望學生能在這次的留學展中了解台灣各大學，對他們的升學都很大的幫助。

淡江大學在很早期就開始招收國外學生，經過很長一段時間努力，目前已有來自七十六國、兩千名外籍生，其中日本學生有五、六十位，每年人數也逐漸成長中，而到淡江的日本學生大多都會就讀日文、國文、

外交領域國際關係等科系，在日文系中不僅成為華語教師，也能從了解日文語法與中文的差異中，培養自己的翻譯能力，在國企系則有全英文的教育，讓學生可以同時兼具中日英三種語言能力。

成大國際學生事務組副組長梁蘊真表示，成大大今年是第五次參加，很感謝台灣教育中心，提供機會給台灣各大學，讓大家能到日本宣傳，打開台灣的大學在日本知名度，而在成大各國籍生都有自己的學生會，會輔佐國際學生事務組照顧學生，也會安排接待義工，協助外籍生解決剛到台灣可能會面臨的生活問題，讓他們能專心在課業上。

梁副組長也提到，日本學生對台灣的大學的印象大多集中在北部，不過近年來也越來越多日本高校組團到成大參訪，也希望藉此讓日本學生認識南部學校，進而提高來南部讀書的意願。

長榮大學入學服務處綜合業務組組長歐薇薇表示，長榮近年來在東南亞國家的招生情況相當穩定，為了讓東亞的學生有機會到台灣就讀，因此參加留學展，比起去年第一次參加，今年的詢問次數增加不少，而為了銜接日本的教育制度，學生畢業後到台灣開學之前，長榮有推出華語教室供學生提前學習中文，以便他們能適應開學後的生活。

就讀日本當地高中的學生小野田彩乃目前已計畫前往長榮大學就讀，一、二志願分別為航管系和翻譯系，她表示，因為過去媽媽曾經在台灣生活，所以曾到台灣待過一陣子，當時留下非常好的印象，得知可以到台灣就讀大學後就很想在台灣完成學業，後來看到長榮的介紹時，就非常有意這間學校，在考慮將來的工作時，就覺得要有幫助就一定要讀長榮了，才下定決心選擇長榮。